



--- Topics ---

- 平成 25 年度 大学・大学院入学式
- 矯正歯科および小児歯科の土曜日診療開始式
- 寄贈絵画除幕式



ODU NEWS

大阪歯科大学広報

ODU NEWS No.168
2013年7月31日

目 次

・平成 25 年度 大学・大学院入学式-----3	・平成 25 年度 感染対策講習会-----8
・学長訓辞 学 長 川添 堯彬-----4	・平成 25 年度 父兄会・共済会総会-----9
・理事長式辞 理事長 川添 堯彬-----5	・平成 25 年度 解剖体慰霊祭-----9
・平成 25 年度 専門学校入学式-----6	・教学セミナーについて -----9
・学位・博士（歯学）授与報告-----6	・平成 24 年度 事業報告 -----9
・平成 25 年 春の褒章・叙勲受章者-----6	・平成 24 年度 監事監査報告----- 25
・矯正歯科及び小児歯科の土曜日診療開始式--6	・平成 24 年度 決算報告 ----- 25
・寄贈絵画除幕式 -----7	・平成 25 年度 学内研究助成金----- 30
・平成 25 年度 オープンキャンパス実施-----7	・人 事 ----- 31
・平成 25 年度 医療安全講習会-----8	・あとがき ----- 36



平成 25 年度 入学式（平成 25 年 4 月 5 日）

平成 25 年度 大学・大学院入学式

平成 25 年 4 月 5 日（金）午前 10 時から楠葉学舎講堂において、平成 25 年度大阪歯科大学ならびに大学院の入学式が執り行われた。

最初に川添堯彬学長から大学 138 名（編入 10 名を含む）、大学院 25 名の入学許可の伝達が行われ、入学者を代表して望月光規さんが入学生宣誓を読み上げた。

川添学長の新入生への訓辞のあと、特待生の表彰が行われ、最後に在学生有志により学歌が斉唱され、新入生を歓迎した。



学長訓辞

学 長 川添 堯彬

今年の春の到来は、例年に比べて幾分早いよう
であります。そして、幸
いにも、本日は爽やかな
晴天に恵まれ、入学生の
皆さんを一層祝福してい
るようであります。

本日、大学入学生・大
学院入学生にとって、と



もにこの日が新しい環境、社会へ向けての決意の誓い
のときであり、新たなスタート地点であります。先ほ
ど来、点呼におきまして、呼ばれた場合に「はい」
という元気のよい声をした人、これはきょう 1 日の一
つの決意を済まされたということで、本人の態度に敬
意を表します。また、元気よい返事をした人が、例年
よりも今年が多いような気がいたします。

また、入学生のご父兄・保護者の方々、ご家族の方々
にとりまして、きょうの日が、期待と願いを込めた
始まりのときと胸に刻んでおられることと拝察いたし
ます。

まず、入学者 128 名と編入学者 10 名の諸君に申し
ます。最近の風潮かもしれませんが、一部新入生の中
には、入学できただけでこのまま時がたてば DDS の
資格、すなわち歯科医師になれるとのんびりしてい
まう学生がおります。これは大きな間違いであります。
これからの長い学生生活を勉学及び履修に努め、進級
して 6 年後の国家試験に合格しなければなりません。
これはかなり厳しい道のりでもあります。しかし、全
員の方が、この過程を越えてもらわなければなりませ
ん。そこで、私は、皆さんのモチベーションを高め、
これを持続させるために、次の三つのステップの概念
をぜひ実行していただきたいと思います。

一つ目は、新入生全員が、まず将来の夢、また目標
を描いて持つてほしいということでもあります。できる
だけ大きな夢、目標が望ましいと思います。

そして二つ目のステップでは、そのために必ずこれ
から 6 年で、編入学者の方は 5 年ですけれども、歯科
医師になってみせるのだという決意、決心をこの年に、

この 1 年に胸にまず刻んでいただきたいのであります。

そして三つ目は、それからは、進級の学習を第一優
先として、ただただ学習に邁進してください。そうす
れば全員が、卒業ができ、国家試験にも合格して、皆
さん方それぞれの以後の人生が大きく開けるでありま
しょうし、夢の実現にもずっと近づくことでありまし
ょう。ぜひこの心構えで 6 年間を進んでほしいと願っ
ています。

ただいまの三つのステップには、最近、医学系、あ
るいは歯学系の学生に特に求められていることとして、
まず「生活習慣の確立」。6 年間を無事に過ごすため
には、まず朝きちんと起床して、朝ご飯をきちんと食
べて、そこから始まる 1 日が続けることが、やはり将来
医療人として多くの患者さんに信頼を勝ち得るものと
いうことを日本全国の医科系の大学の先生方が、異
口同音にそのように言うております。本学にとりまし
ても、それをまず求めます。これはまたこの後、個別
にそのことの意味を強調してまいりますつもりであります。

さて、大学院に入学された 25 名の、もう歯科医師
の皆さんですけれども、本日はまことにおめでとうご
ざいます。皆さん方は、義務化された 1 年間の臨床研
修を修了され、その上で難関な試験にも見事に合格さ
れた精鋭ぞろいであると言っても過言ではありません。
また、ご父兄・保護者の皆様方におかれまして、ご
子弟の晴れ姿を目の前にされ、その感慨もひとしおの
ことと拝察申し上げます。反面、これからの 4 年間、
経済的にも大きな試練が続くことにもなり、その胸中
は複雑な思いが去来していることとお察し申します。

大学院生の皆さんは、既に歯学士の免許を取得され
ておられるわけでありまして、なお、その上の
博士(歯学)の取得を目指されているわけでありまして。
しかし、その道のりは平たんではなく、厳しいことも
覚悟しておかなければなりません。それだけに、その
志が全うできたときの喜びは、筆舌に尽くせないもの
となると思います。そして、2 度や 3 度の失敗にもく
じけることなく努力を重ねていけば、必ずや皆さん方
が期待した 2 倍にも 3 倍にも相当する満足感や夢の達
成感をより強く味わえることと思います。

そしてまた、諸君に一人でも多く、これからは海外
留学を志してほしいと願います。大学は、全力を挙げ
てそのような有為の青年歯科医師、博士を支援し、帰
国後におきまして支援を続ける制度を設けておりま

す。大いに羽ばたいていただきたいと願いたします。

最後に、大学入学生・大学院入学生の両方の皆さん方へのはなむけの言葉として、医学教育者の父とたたえられた、世界の多数の医学生に大きな影響を及ぼした、1919年に亡くなられたウィリアム・オスラー教授がよく引用された言葉を贈ります。「夜明けの勧告に耳を傾けよう。きょうという日に目を向けよう。これこそ生命、生命の中に命がある。その短い行程の中には、あなたの存在の心理と現実の全てが含まれる」。

これをもって、学長から皆さん方への訓辞といたします。

理事長式辞

理事長 川添 堯彬



本日、大学並びに大学院に入学されたそれぞれ 138 名と 25 名の方々、両方の皆さんにこの式辞を送りたいと思います。

本学は、1911 年、明治 44 年に創立されました。一昨年 11 月には、その 100 周年記念のいろいろな行事を執り行いました。本学は、そういった長い伝統に支えられた大学であります。あなた方も、きょうから我々とともに諸先輩の築かれた大学愛、母校愛、そして同窓としてのきずなを汚すことなく受け継いでいくわけでございます。

本学の創設者であります藤原市太郎先生は、明治 44 年 12 月 12 日にある思いを抱いてこの学校を創立されました。その当時、日露戦争が終結するか間もないこ

ろで、まだ世の中は騒然とし、社会は経済的にも緊縮状態であったと思います。その中にあって、藤原市太郎先生は、この大学を現在の大阪市福島区野田 4 丁目に創立されたわけであります。現在、ここに立派な記念碑が建てられております。その思いとは、「学校経営事業は営利に非ず、博愛公益のために努力するものなること」。この言葉が、2 代目の理事長でありました古川賢治先生に申し伝えられ、この言葉だけはぜひとも絶対に受け継いでいってほしいとの願いをもってバトンを渡された、大変尊い、また貴重で崇高な本学の建学の精神であります。

そして私は、この 100 周年の記念事業の中で発見しましたのは、100 年たってもこの言葉はこれほど輝いて、またこれほど有益で私たち学ぶ者の心を勇気づけてくれる言葉はないのではないか。この言葉は、世界の国々、特にアジア諸国のみならず、全世界のどの国に行っても胸を張って通じるスピリットではないか、そういうことを昨年改めて見出したわけです。マザー・テレサの象徴ともなっております博愛の精神を思い出すまでもなく、これは本学に脈々と続いていることを実感するわけであります。どうか皆さんも、この精神を少しでも実践に向けて活動するとともに、究極の目標として胸に刻印され、また後輩にもこのスピリットを引き継いでいっていただきたいと思っております。

この言葉は、まさに学部学生諸君にとりまして、大学院生諸氏にとりまして、時や国を超えて通じるものであると思います。これほど崇高で誇れる言葉はほかにありませんか。私たちは、これをとてもすぐには達成できないかもしれませんが、少しでもそちらの方向へ進む志を持ちたいと願っているわけであります。この我が校の誇れる建学の精神を、今私も大切に守り続けたいと強く胸に銘記しているところであります。皆さん方もどうかお忘れのないように進んでいっていただきたいと思います。

以上、理事長の式辞といたします。

平成 25 年度 専門学校入学式

平成 25 年 4 月 9 日（火）、大阪歯科大学歯科技工士専門学校ならびに歯科衛生士専門学校の入学式が執り行われた。歯科技工士専門学校に入学した第 50 期生 15 名、歯科技工士専攻科の第 35 期生 11 名、歯科衛生士専門学校に入学した専門第 39 期生 51 名に対し、末瀬学校長から入学許可が宣された。



末瀬学校長は、新入生 77 名に対し、「人は一生のうち会えるべき人に出会う」と、人との出会いの大切さ、感じる力の大切さを述べ、将来、専門分野の医療人のリーダーとして育つよう、以下のことばを贈った。

1. 寄り道や遠回りを嫌がらない。
2. 一つのことだけでなく、複数のことにも興味をもつ。
3. どれに対しても一生懸命集中して取り組む。



学位・博士（歯学）授与報告

木下 円我 乙第 1576 号 （平成 25 年 6 月 26 日）

歯科医師の睡眠状態と日中の活動

赤井 啓祐 乙第 1577 号 （平成 25 年 6 月 26 日）

Morphological study of the palatine mucosa in the type 2 diabetes mellitus model rat (2 型糖尿病モデルラットにおける口蓋粘膜の形態学的研究)

安岡 大志 乙第 1578 号 （平成 25 年 6 月 26 日）

バイオフィルム形成 *Streptococcus constellatus* のゲノム解析

平成 25 年 春の褒章・叙勲受章者

平成 25 年春の褒章・叙勲において、大阪歯科大学関係者として以下の先生方が受章されました。

褒 章

大学 25 回 窪 盛偉 高知県 藍綬褒章

叙 勲

大学 9 回 千代 忠俊 香川県 瑞宝双光章

大学 10 回 服部 素直 京都府 旭日双光章

矯正歯科及び小児歯科の土曜日診療開始式



日 時：平成 25 年 5 月 11 日（土）午前 8 時 30 分
場 所：大阪歯科大学附属病院 本館 2 階 待合

教職員はじめ関係者多数の出席のもと開催されました。覚道健治附属病院病院長より関係各位のご理解、ご協力により土曜日診療が実現できたことに対して感謝の言葉が述べられ、今後ますます土曜日診療が発展するように「一丸となって、がんばろう！」とのご挨拶がありました。

5月11日土曜日	初診	再診	合計
矯正歯科	3	2	5
小児歯科	4	9	13
総合診療・診断科	0	3	3
患者数合計	7	14	21

寄贈絵画除幕式

平成25年4月22日（月）午後2時から、大阪歯科大学創立100周年記念館エントランスにおいて、大学12回卒業の小野武彦先生制作による絵画「DISTANT MEMORY 遠い記憶」の除幕式が行われました。

この絵画は、一昨年に本学創立100周年を記念して小野先生より寄贈いただいたもので、栄えある第46回一期展・群馬県議会議長賞受賞作品でもあります。去る3月に記念館が無事完成し、漸くこの度のお披露目となりました。

記念館に飾られたご自身の油絵を前に小野先生は、自らの作品が母校で展覧されることを「大変光栄に思います」と喜びの挨拶を述べられ、川添理事長・学長から感謝状が贈呈されました。

「DISTANT MEMORY」には、中之島のシンボルである中央公会堂が追憶とともに輝きをもって描かれています。本学の新たなシンボルとして今年誕生した記念館もこの絵の公会堂のように末永く、学生をはじめ多くの方々に親しまれていくことでしょう。

皆様も記念館を訪れた折は、是非この美術作品をゆっくりご鑑賞してみてください。

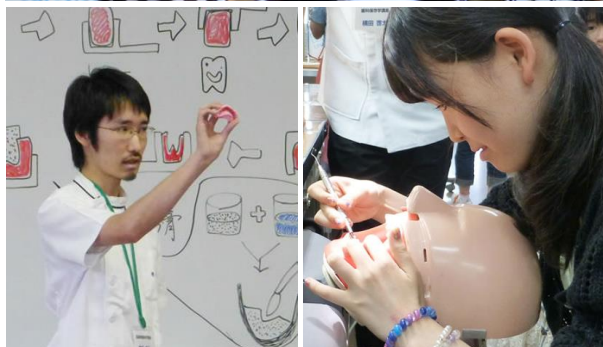


（左から3人目が小野武彦先生）

平成25年度 オープンキャンパス実施

5回開催予定のうちこれまで3回〔第1回：5月26日（日）、第2回：6月30日（日）、第3回：7月28日（日）〕開催し、参加者数は延べ168名（うち受験生等は86名）を数え、前年並みの人数となっております。第4回は8月25日（日）に、第5回は11月2日（土）学園祭期間中に開催する予定です。

これまでに実施しましたプログラムとしましては、本学の入試概要説明、在学生による学生生活の説明、学食体験、学内施設見学、実習体験、個別相談会等があり、毎回高い満足度（ほぼ100%）となっております。



平成 25 年度 医療安全講習会

日 時：平成 25 年 5 月 14 日（火）
 午後 5 時 10 分～午後 6 時 20 分
 場 所：創立 100 周年記念館 4 階大講義室
 講 師：神戸市立医療センター中央市民病院
 麻酔科副医長 東別府 直紀 先生
 演 題：「栄養サポートチーム（NST）について」

東別府直紀先生から栄養サポートチーム（NST）の活動について、特に「栄養療法の基本と実際」として講演された。約 250 名が受講、会場は満席となった。講演が予定時間を 10 分超過しても質問に对应いただくなど有意義な講習会となった。

外部の講師を招いて開催する今年度初の医療安全講習会で、創立 100 周年記念館の柿落としに相応しい素晴らしい幕開けとなった。



平成 25 年度 感染対策講習会

日 時：平成 25 年 7 月 9 日（火）
 午後 5 時 10 分～午後 6 時 10 分
 場 所：創立 100 周年記念館 4 階大講義室
 講 師：矢野 邦夫 先生
 浜松医療センター副院長 兼 感染症内科長
 兼 臨床研修管理室長
 演 題：「歯科領域における感染対策」

感染対策の分野で第一人者である 矢野 邦夫先生のご講演が、本学天満橋学舎 創立 100 周年記念館で行われました。

当初は講演だけの予定でしたが、矢野先生のご厚意で院内ラウンドが本館 13 階病棟、本館 12 階中央手術室、本館 9 階保存系診療室、本館 2 階フロアで実施され、エビデンスに基づき改善箇所が指摘されました。

川添理事長・学長が挨拶され、講師のご紹介があった後、講演が始まり、映画「アウトブレイク」の見所や日常の出来事から、感染対策の基本を CDC の感染対策に基づき楽しくお教え頂きました。随所にジョークを交えながら、大阪のお笑い文化にもご配慮頂き、最後まで興味ある内容満載の傾聴に値する講習会となりました。



平成 25 年度 父兄会・共済会総会

平成 25 年度の父兄会・共済会総会は 6 月 29 日（土）午後 1 時から楠葉学舎講堂で開催され、多数の父母が出席されました。

父兄会は新旧父兄会幹事長、川添理事長・学長のあいさつに続き、学内報告、学業評価方法他 CBT、OSCE、卒後研修の解説が行われました。

引き続き議事に移り、父兄会・共済会の平成 24 年度決算ならびに平成 25 年度予算が承認されました。

総会終了後、学年別個人懇談会では 298 名の父母が出席され、学年指導教授・助言教員等と学業面、生活面について熱心に懇談されました。



平成 25 年度 解剖体慰霊祭

新緑の五月晴れの中、5 月 24 日（金）午後 2 時より四天王寺五智光院において、ご遺族様、黄菊会会員様、教職員、本学学生、歯科技工士・衛生士専門学校生を合わせて 700 名近い参列者の下、平成 25 年度解剖体慰霊祭が厳かに執り行われた。

開式前の喧騒が導師入堂を告げる半鐘の音により、瞬く間に式場全体が荘厳な静寂に包まれた。その静寂の中、導師入堂に合わせて開式の言葉が述べられた後、解剖学講座諏訪文彦主任教授から祭文が奉読された。

四天王寺御坊の唱える読経の中、尊いご遺体を捧げられた御霊のご冥福を心より祈念し、参列者一同が焼香を行った。

引き続いて、本学を代表し川添堯彬理事長・学長より、歯科医学の教育発展のために篤志を持ってご献体

いただいた故人、ご遺族ならびに黄菊会会員の方々へ深甚なる謝辞が表された。

川添理事長・学長から献体者（故）足達律子様他 12 名のご遺族に対して、文部科学大臣感謝状が感謝の言葉と共に手渡された。

最後に全学生を代表し、第 3 学年の上嶋佑実さんからご献体者の霊前に感謝の言葉が捧げられ、参列学生一同も立礼により感謝の意を表した。

慰霊祭終了後、ご遺族は四天王寺境内の元三大師堂内に建立された本学慰霊碑へ移動し、回向を行った。

また、時を同じくして、四天王寺客殿において黄菊会第 41 回総会が開催され、議事どおり終了した。

教学セミナーについて

平成 25 年 5 月 29 日（水）に、東京歯科大学教授の佐藤亨先生をお招きして、教学セミナー『歯科医師国家試験合格率向上に向けた取り組み』と題してご講演を頂きました。

当日は 124 名の教職員が参加し、東京歯科大学がこれまで取り組んできた歯科医師国家試験合格率向上策について、スライドや映像を使ってご説明を頂き、結びには本学教職員に向けて熱いメッセージを頂きました。

平成 24 年度 事業報告

はじめに

本学は、平成 24 年度を新たな 100 年への飛翔の年と位置づけ、昨年度に引き続き様々な事業を展開した。

その事業の中には、本学創立 100 周年記念事業の一環である「創立 100 周年記念館」の竣工と、出版物「大阪歯科大学 100 年史」、「大阪歯科大学大学院 50 年史」の刊行がある。

「創立 100 周年記念館」は、多くの本学教職員、同窓生の浄財によって成し遂げられたものであり、地上 4 階建の独特のフォルムを持ち、大講義室、中講義室、小講義室、ゼミ室を備え、天満橋学舎における新たな

教育拠点として平成 25 年 4 月にはいよいよ使用が開始される。

また、「大阪歯科大学 100 年史」、「大阪歯科大学大学院 50 年史」は、まさに本学の激動の歩みを活写して、同時に我が国における歯科医学の歩みをも俯瞰できるような構成となっている。

以上の記念事業に加え、本学が過去 100 年の間、社会に果たしてきた役割、そして、先人たちが築き上げてきた歴史と伝統という「誇り」と、これからの 100 年に向けてこの善き伝統を継承発展させていく「誓い」をモットーに学内改革を推し進めた。

この諸改革の遂行は、川添理事長・学長の提唱する「五つの力の目標」－募集ブランド力の向上、学力の向上、教育力の向上、人間性涵養力への注力、教員人材育成力への注力－を第一の柱とし、それに加え「三つの力」－学生の国際交流力増強、大学院力の増強、研究力の向上－を第二の柱として、これらが相まって原動力となったことは言うまでもない。

これらの柱を基調として、大学における教育、研究、診療と、歯科技工士、歯科衛生士両専門学校との連携協力を伴って、創立 100 年を経た歯科医学総合学園としての力量を発揮し、不断の学園改革を行い、私立歯科大学の置かれている厳しい状況に対抗していかなければならない。

激動の明治時代に、関西で一早く歯科医師の養成を目指した学校を作るという発想をもった創立者藤原市太郎先生の遺訓「学校経営事業は営利に非ず博愛公益のために努力するものなること」との建学の精神を、100 年後の我々教職員は肝に銘じ、各人が「夢寝にも学校のことは年頭を去らず、一途其の興隆ならん事を希」うことを信条として職務に邁進しなければならない。

本学の沿革

本学は、大学歯学部歯学科、大学院歯学研究科、歯科技工士専門学校、歯科衛生士専門学校を擁する関西唯一の私立歯科医学総合学園である。以下に本学の沿革を年譜にして記載する。

明治 44 年（1911）12 月に大阪歯科医学校が設立認可された。

明治 45 年（1912）1 月に大阪歯科医学校が開校した。（1 月 14 日・創立記念日）

大正 6 年（1916）9 月に大阪歯科医学専門学校が設立認可された。

昭和 22 年（1947）6 月に大学令による旧制大阪歯科大学が設立認可された。（6 月 18 日・昇格記念日）

昭和 27 年（1952）2 月に学校教育法による新制大阪歯科大学が設立認可された。

昭和 36 年（1961）4 月に大学院歯学研究科博士課程が設置された。

昭和 39 年（1964）4 月に大阪歯科大学歯科技工士専門学校が設置された。

昭和 43 年（1968）5 月に大阪歯科大学歯科衛生士専門学校が設置された。

法人組織としては、大正 6 年 9 月に財団法人大阪歯科医学専門学校を設立した。昭和 22 年 2 月に財団法人大阪歯科大学、昭和 26 年（1951）3 月に私立学校法による組織変更により学校法人大阪歯科大学となった。

平成 9 年（1997）4 月楠葉学舎へ大学機能の移転を完了、天満橋学舎に新附属病院本館を建設し、牧野学舎と合わせ 3 キャンパスを持つ歯科医学総合学園として新体制をスタートさせた。

平成 23 年（2011）11 月 11 日、国内・海外から多数の来賓を迎え盛大に創立 100 周年記念式典を挙行了した。

創立 100 周年記念出版物としては、次の 4 点を刊行した。

『大阪歯科大学のあゆみ・博愛と公益を目指して』

（平成 23 年 10 月）

『大阪歯科大学創立 100 周年記念の葉（しおり）』

（平成 24 年 10 月）

『大阪歯科大学 100 年史』（平成 24 年 12 月）

『大阪歯科大学大学院 50 年史』（平成 24 年 12 月）

創立 100 周年記念事業最大のプロジェクトである創立 100 周年記念館の建設については、平成 24 年（2012）4 月に起工式を挙行、建設工事が順調に進行し、平成 25 年（2013）3 月に竣工した。

平成 24 年度事業計画は、次に示す 6 項目であり、その取り組み内容について各項目ごとに、その概要を記載する。

- I. 教学(学部教育)の改革
- II. 大学院力の量・質的増強
- III. 教員人材育成力の改革
- IV. 附属病院の改革
- V. 両専門学校の改革
- VI. 特別重点計画

I. 教学(学部教育)の改革

本学は、優れたプロフェッショナルとしての歯科医師を養成することを通して広く社会貢献することが教育の目的である。そのため、教育および研究環境の整備に努め教育改革を進めていかなければならない。

平成 14 年度から「カリキュラム 2000」を実施し、「知識教育」、「技能教育」、「態度教育」で構成され、臨床実習の開始を前にした第 4 学年次に臨床実習生としての能力を試す「共用試験 (CBT,OSCE)」の実施へ向けて、学内環境の整備を行ってきたところである。これらを踏まえ、歯科医師養成のためにあるべき教育内容を再構築し、平成 24 年度第 1 学年から「カリキュラム 2012」を実施した。これは明確な学年制を敷き、教育内容の充実に努めた。なお、従来から学生には授業計画を示したシラバス「学修の手引き」を配付しており、適宜自身で授業の進捗を確認できるようになっている。

○大学学部入試結果

本年度もオープンキャンパスを 5 回にわたり開催した。参加者の延べ人数は 300 名で、これまで開催した中で最多を記録した。内容は、本学の概要説明、現役生による学生生活の話なども取り入れ本学への親近感を高める努力をした。また、本学の HP やリクルート進学ネットに大学案内を掲載し、本学への注目度を高めネットを通した入試資料要求も増加している。

入学者選抜方法としては、一般入学試験(前期・後期)、推薦入学試験(公募・指定校)であり、順調に実施された結果、128 名の募集人員を極めてスムーズに確保した。また、平成 23 年度から開始した編入学入学試験は 2 年目を迎え、志願者が増加し、第 2 学年に

10 名が編入となった。

今後の課題としては、すでに以前から他の大学歯学部では取り入れられている大学入試センター試験の導入があり、鋭意検討している段階である。

○第 106 回歯科医師国家試験結果

新卒者は 105 名が受験し、合格者は 78 名で合格率 74.3%、新卒者の私立歯科大学・歯学部の合格率は 76.8%であった。既卒者を含めると 182 名が受験し、合格者は 115 名であった。

一方、全国では 3,321 名が受験し、2,366 名が合格(全体平均合格率は 71.2%)という結果であった。

次年度へ向けての第 6 学年学力向上に向けて、教職員一丸となって対応すべく計画を行っていくものである。

○新カリキュラムの導入 1 年目の改革

平成 24 年度からスタートした新カリキュラムは、次の 11 のコースが基本構成となっている。

- (1) 態度教育、(2) 教養教育、(3) 語学・情報科学教育、(4) 基礎科学教育、(5) 基礎系歯科医学教育、(6) 社会系歯科医学教育、(7) 臨床系歯科医学教育、(8) 総合医学系教育、(9) 第 1～4 学年歯科医学統合教育、(10) 歯科臨床教育、(11) 歯科医学統括教育

カリキュラム導入 1 年を経て、授業内容の一層の充実を図った。平成 24 年度中に、各試験の合格基準(65%)を改正し、厳格化を図ることで、学生に緊張感を持って受講する態度を醸成することとした。

○低学年次学力

第 1 学年の初年次教育については、特に歯科医師としての動機づけを学生に浸透させる機会として重視しているところである。本学出身の歯科医師を特別講師に招き、創立 100 周年記念出版物の一冊である『大阪歯科大学のあゆみ・博愛と公益を目指して』(平成 23 年 10 月刊行)をテキストに、歴史と伝統を誇る本学の歴史と歯科医師としての心構えについて熱弁をふるっていただいた。

また、推薦入学者、編入学学生には、新年度に備えた入学前教育を行い、スムーズな教育ができるよう配慮した。

○学生生活指導

学生には、本学における学生が守るべきルールをまとめた小冊子「学生生活ハンドブック」を配付するとともに、在学生の態度規範向上に関して、本学教員が、学生登学時に楠葉学舎正門で挨拶を行う取り組みを行った。

学生部関係では、学園都市ひらかた推進協議会に加入する6大学が集まり、平成24年6月に本学楠葉学舎において、「枚方6大学学生部担当情報交換会」を開催した。また7月には第1学年を対象に大阪府警察本部から講師を招いて「平成24年度薬物乱用防止講演会」を開催した。

○学習機会の拡大・充実

本学図書館では、学習機会の拡大充実のため、開館時間の延長を継続している。なお、大学ランキング2014年版（週刊朝日進学MOOK）学生一人当たりの図書貸出冊数は14.6冊で、昨年度に引き続き私立歯科大学・歯学部中Aランクに位置している。

○認証評価への取り組み

本学は、文部科学省・平成24年度「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」事業の一つ「医学・歯学教育認証制度等の実施」において、東京医科歯科大学申請の「歯学教育認証制度等の実施に関する調査研究」の連携大学に採択された。

これは、大学教育の質が社会的に注目を集めている中で、我が国の歯科医師養成の質保証の担保のため、歯学教育に特化して大学分野別評価につき、調査研究し、認証評価基準を策定のうえ、トライアルとして認証評価を行うもので、本学の歯学教育を国際基準に照らして検証するものである。

また、すべての大学に義務付けられている認証評価については、平成19年度に大学基準協会から認証評価を受けたところである。その後7年ごとの認証評価受審の時期に近づいており、このことについても鋭意取り組むべく準備を進めている段階である。

Ⅱ．大学院力の量・質的増強

1. 大学院生の入学倍増計画
2. 大学院教員の増強

3. 募集定員の拡大、社会人院生の拡大
4. 外国人入学・受入れの奨励
5. 修士課程（衛生士、技工士）の増設

研究機関としての大学の機能を活性化させるため、その中枢をなす大学院の増強計画に取り組んだ。

平成24年度は21名の学生が入学し、平成23年度から実施している外国人留学生特別選抜入試では、学術交流校である中国の大学（南方医科大学）から2名の学生が入学した。

また、専門医コースの設置および修士課程の増設については、それぞれ設置に向けて検討を進めた。大学院修士課程については、大学院修士課程設置準備委員会が設置された。

Ⅲ．教員人材育成力の改革

1. 教員評価（平成21年度から実施）
2. 第5・6学年の天満橋学舎一貫教育
3. 講義室・自習室の増設
4. 大学院教授・教員の新規任用

○教育人材育成力

教員評価を実施し教員一人ひとりが教育力、教育方法の改善を図ってきている。その一環として、教員評価の項目を定めた「教員評価実施規程」について、平成25年4月から施行すべく検討を進めた。

教員の教育への注力を図るため、教員の兼務、出張及び研修に関する内規を改正した。この内規は、教員が兼務、出張及び研修により勤務時間内に勤務場所を離れて勤務することについて一定の制限を加えるものである。

教員の資質の向上については、FD委員会が積極的に企画立案を行い、FD研修会を精力的に実施した。研修会では外部講師として、8月期のFDに日本歯科大学新潟歯学部の藤井一維教授、9月期、平成25年2月期のFDに関西外国語大学国際言語学部の森田健宏准教授を招聘した。

○国際交流

国際交流の目的は、諸外国の大学等の相互の教育、

研究の充実と発展を図り、同時に本学教員の資質向上ならびに学生の国際的視野の育成にある。

本学教員の海外での共同研究あるいは研究発表に関しては、61名に対して助成が行われているが、そのほかに中国5大学との共同研究では、本学への受入として北京大学口腔医学院2名が来学、本学から西安第四軍医科大学口腔医学院へ2名の教員を派遣した。

海外協定校との学生交流については、シドニー大学歯学部から5名の学生が、北京大学口腔医学院から学生3名と教員1名が本学へ来学し、活発なディスカッションにより交流を深めた。

また、本学からの派遣としては、南方医科大学口腔医学院に学生6名（第2、3学年）、シドニー大学歯学部学生5名（第3、4学年）、コロンビア大学歯学部学生9名（第5学年）が参加し、学生の勉学に対する意欲の向上に役立った。

米国コロンビア大学との共同企画プログラムであるOsaka Dental University / Columbia University College of Dental Medicine Continuing Education Programが平成24年7月9日から7月12日まで同大学で開催された。本学からは、川添理事長・学長を筆頭に、総勢23名の先生方が参加した。このプログラムは、コロンビア大学歯学部の誇るインプラント治療医9名の講師陣による講義を通じて米国における口腔インプラント治療の最新技術を習得するセミナーであり、少人数制による密度の濃い内容であった。

○臨床研究に関する利益相反関係規程の検討

利益相反に関しては、本学はすでに「学校法人大阪歯科大学利益相反検討委員会規程」（平成21年9月）、「学校法人大阪歯科大学利益相反ポリシー」（平成23年4月）を制定しているが、臨床研究を強化するため、平成25年4月に臨床研究における利益相反に関する検討委員会を設置すべく規程を検討している。

○本学の情報公開について

本学では、ホームページに情報公開の項目を設けて、ステークホルダーのためにその充実を図っている。掲

載内容は、次のとおりとなっている。

1. 教育研究の基礎情報

- ・学部・学科、大学院研究科の教育方針、大学院案内
- ・専任教員数
- ・教育環境（キャンパス案内、アクセス、教育施設）
- ・学費

2. 修学上の情報

- ・教員組織（教員一覧、教室・講座案内（教員の研究業績））
- ・入学定員、在学者詳細
- ・授業科目・内容
- ・卒業に必要な単位
- ・学生支援
- ・学生が修得すべき科目の特長

3. 財務情報・事業報告書（平成20年度から平成23年度まで）

資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表、財産目録、監査報告書、事業報告書

○財務情報の公開

平成16年に私立学校法が改正され、財務諸表（資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表）等の備え付けと利害関係人（ステークホルダー）への閲覧が義務付けとなっている。

すでに本学では、ホームページ、広報誌＜ODU NEWS＞において財務情報について公開しており、ステークホルダーへの対応は整備してきたところである。このような中で、従来からの大学の財務情報公開に関する文部科学省の方針や各大学での開示基準制定の動きを踏まえ、平成25年3月理事会における審議を経て、財務情報公開規程を新たに定めることとなった（平成25年3月29日施行）。

○事務組織と事務分掌規程の改正

私立大学共通の課題として、各大学の建学の精神を具現化するために教員と職員の人材育成向上が必須となってきた。

歯科医学総合学園としての本学で職務に従事する職員の資質向上が必要であることは言うまでもないが、同時に教育・研究・診療の高度化に伴い、事務組織の

不断の見直しも重要であることは言うまでもない。

本学においても、平成 9 年の楠葉学舎への大学機能の移転時に、大学組織改革に伴い、関係セクションの新設が行われるとともに事務分掌規程の改正を行ってきたところである。今回創立 100 周年を経て、平成 25 年 3 月に創立 100 周年記念館が竣工し、新たな教育体制が整備されたのを契機とし、全般的に事務組織・事務分掌規程の見直しを図った。

- ① 法人事務部を廃止し、法人事務局のもとに経理部、大学管理部、大学企画部、大学事務部、病院事務部の 5 つの部を置いた。
 - ② 内部監査室を法人事務局から独立させた。
 - ③ 総務課に人権担当、広報担当、牧野事務室を集約した。
 - ④ 大学庶務課に記念館事務室を置いた。
 - ⑤ 病院庶務課に卒後研修担当を置いた。
- というものである。

○教育施設整備・各種補助金・助成金関係

【創立 100 周年記念館】

天満橋学舎(大阪府中央区大手前 1 丁目 5 番 17 号)
4 階建て鉄骨造、総工費 10 億 2677 万 3900 円

【平成 24 年度における私立大学等経常費補助金】

一般補助は、4 億 5357 万 1 千円で、そのうち特別補助は 3284 万 3 千円である。

特別補助の項目は、次のとおりである。

- ・成長分野の推進と成長力強化に貢献する人材育成(社会福祉施設体験学習)
- ・大学等の国際交流の基盤整備への支援(外国人留学生特別選抜入試)
- ・大学院における研究の充実(大学院歯学研究科)
- ・研究施設運営支援(中央歯学研究所)
- ・授業料減免及び学生の経済的支援体制の充実(大阪歯科大学共済会奨学制度)

【平成 24 年度私立大学等研究設備整備費等補助金(私立大学等研究設備等整備費)】

走査型 X 線光電子分光分析装置 2,660 万円

【平成 24 年度私立学校施設整備費補助金(私立学校教育研究装置等施設整備費(私立大学・大学院等

教育研究装置施設整備費)】

歯科診療チェアユニット及びファントム
3,150 万円

【平成 24 年度科学研究費補助金】

本学の交付状況は、次のとおりである。

基盤研究(C) 36 件、挑戦的萌芽研究 1 件、若手研究(B) 23 件、研究活動スタート支援 1 件 合計 61 件 9,984 万円

【厚生労働省 成育医療研究開発事業費】

(成育医療研究開発事業費)

1 件 100 万円

【一般財団法人京都工場保健会】

1 件 15 万円

【特例財団法人山崎歯学振興財団】

1 件 30 万円

○地域との交流

【第 20 回大阪歯科大学公開講座】

本年度も市民を対象とした公開講座を開催した。「歯との長い付き合い」をメインテーマに、大阪府で平成 24 年 9 月 1 日、8 日、枚方市で平成 25 年 2 月 23 日、3 月 2 日に開催し、多数の市民が参加して好評であった。

【市民への施設開放】

市民へのグラウンド(長尾校地・牧野学舎の一部)、テニスコート(楠葉)などの施設開放を行った。

【枚方市との連携事業】

・健康医療都市ひらかたコンソーシアム

本学楠葉学舎の所在地である枚方市は、健康医療都市を都市ブランドに掲げているが、同市には本学の他に、関西医科大学と摂南大学の合計 3 つの医療系大学があることから、これら 3 各大学と「連携を強化することで、市民らの健康増進や地域医療の充実を進め「健康医療都市」の実現につなげていく」ことを目的に、3 大学を含む枚方市民病院等 13 団体の連携協力に関する協定が平成 24 年 8 月に締結さ

れ、「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」が発足した。

本学の川添堯彬学長は、「枚方市とは昭和 4 年の本学の前身である大阪歯科医学専門学校が牧野に移転して以来のお付き合いであり、本学はその後平成 9 年に楠葉花園町に移転し地域に根ざした大学として歩んでいる。この協定を機に、従来から開催している公開講座や健康講座の充実や市の事業への積極的な学生の参加にも取り組み社会貢献活動に力を入れたい」と抱負を述べた。

・ひらかた市民大学について

本年 11 月には、市民への医療に関する情報提供を目的にした「ひらかた市民大学」に本学が教員を派遣した。

IV. 附属病院の改革

1. 収支改善による健全経営戦略
2. 先進医療の態勢整備
3. 病院運営貢献者への顕彰・報奨
4. B/C 考慮の支出、経費の見直し
5. 各部署の収支改善策を提案・実行

収支改善を目標に改革を進めてきており、平成 23 年度の病院収入については、大学全体の収支状況を考慮すると、さらに効率的な運営と抜本的な改革を進めていく必要がある。

平成 24 年 4 月理事会のもとに附属病院経営改善委員会が発足し、精力的に各部署の収支データを収集のうえ、慎重な審議を進めた結果、次年度に向けて土曜日の開院を決定（平成 25 年 2 月）して、その環境整備を開始した。

平成 24 年度の初診患者数は、2 万 4,429 人、一日平均 100.95 人で対前年度比 2.54% の増加であった。

平成 24 年度の外来・入院患者の延べ人数は、26 万 8,791 人で、地域別では大阪府 24 万 5,766 人、兵庫県 1 万 3,784 人、奈良県 8,641 人、京都府 5,953 人などであり、その他に和歌山県、滋賀県、三重県、東京都、北海道、沖縄県と全国各地にわたって来院されている。

○歯科医師の派遣

平成 24 年度の歯科巡回診療は、渡名喜村渡名喜島

で実施された。本診療は平成 24 年 5 月 23 日～平成 24 年 6 月 20 日、再診療は平成 24 年 7 月 3 日～平成 24 年 7 月 5 日にそれぞれ実施された。継続している社会福祉法人阪神福祉事業団センター診療所、日本放送協会（大阪放送局）への派遣、白浜アドベンチャーワールドの動物歯科検診を行った。また、本学附属病院に隣接する国家公務員共済組合連合会大手前病院への訪問歯科診療が継続実施されている。

○歯科医師臨床研修

平成 18 年度から必修化された歯科医師臨床研修に関しては、制度発足当初から積極的に取り組んでいる。症例報告会が 3 月 14 日（木）に、修了証書授与式及び症例報告会の表彰が 3 月 26 日（火）に行われた。

修了者は、プログラム S（単独型）28 名、プログラム C（複合型）74 名合計 102 名であった。研修歯科医受入施設は、49 施設であった。

○病診連携講演会（懇談会）

平成 24 年度で 10 回目の講演会が、平成 25 年 2 月 16 日（土）に開催された。

○地域医療連携室の設置

大阪府等地域の歯科医院、病院との連携を深めることを目的に平成 23 年 4 月から運営を開始した。年間紹介患者数は、約 8,800 名であり、連携への適格な情報管理が必要である。

○医療安全講習会、院内感染対策講習会等

医療安全、院内感染防止等に関する取り組みは、昨年度に引き続き講習会が開催され、多数の教職員が参加した。

「医療安全講習会」

「院内感染対策講習会」

「医薬品安全管理講習会」

「医療機器安全管理講習会」

○先進医療の推進

本学附属病院の「先進医療」として、平成 24 年 6 月 1 日付けで「歯科用 CAD・CAM システムを用いたハイブリットレジンによる歯冠補綴」、平成 25 年 1 月 1 日付けで「有床義歯補綴治療における総合的咬合・

咀嚼機能検査」が厚生労働省の承認を受けた。

先進医療とは、新しい医療技術の出現・患者ニーズの多様化等に対応するために、健康保険の診療で認められている一般の医療の水準を超えた最新の先進技術として、厚生労働大臣から承認された医療行為のことである。

○附属病院診療科の充実

「学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程」を改正して、本学教員の定員について、今回、耳鼻咽喉科学講座（定員 2 名）を附属病院診療科の中に移行し、診療科の定員を現行 26 名から 28 名とした。

○医療用機器備品整備

眼科手術用顕微鏡を更新し（2159 万 8500 円）、正確かつ安全な手術の実施を図った。フィルムレス方式デジタル撮影システム 837 万 9 千円を新規に購入し、中央画像検査部において行われたデンタル撮影についても画像配信を可能とし、診療活動の効率化を図った。

○省エネルギーの取り組み

本学附属病院は、第二種エネルギー管理指定工場となっており、適正な省エネ対策が行われている。平成 25 年 1 月に省エネルギー庁による実地調査が行われ、熱心な取り組みであるとの評価を受けた。

学校法人全体でも取り組みを推進するため学校法人大阪歯科大学省エネルギー推進委員会が設置された。（平成 24 年 10 月）

V. 両専門学校の改革

歯科技工士専門学校は、平成 24 年度から募集定員を 45 名から 30 名に減員するとともに、教育課程の見直しを行い、選択コースとして、「義歯専攻コース」、「CAD/CAM 専攻コース」、「インプラント専攻コース」の 3 コースを設けた。

入学者確保については高校訪問を教員・事務職員が積極的に行ったほか、地域の郵便局に入学生募集の広告を行った。

歯科衛生士専門学校は、入学定員 50 名（入学者は 54 名）を充足している。優れた教育環境、教員人材を生かすべく周辺の学校訪問、ホームページ進学ネットへの掲載など学生を確保するための取り組みを進めた。

歯科技工士・歯科衛生士の国家試験合格率は、今年度 100%であった。

VI. 特別重点計画

1. 創立 100 周年記念事業の達成
2. 第 22 回日本歯科医学会総会の主幹校

1. 創立 100 周年記念事業の達成

○記念事業募金

「創立 100 周年記念館」建設のための募金を記念事業として行い、同窓生をはじめ教職員、父兄、専門学校卒業生、関連会社等に募金の依頼をした。募金期間終了後も募金が絶えず、募金件数は 1800 件を超え、募金金額は本学共済会からの 3 億円を含め 4 億 7491 万 1740 円に達した。

○創立 100 周年記念館

本学の将来を担うシンボルであり、既存の天満橋学舎附属病院本館の外観と調和しつつ、上町筋へ大学の新たな顔を創出した。この建物は、歯科医師国家試験を間近に控えた第 6 学年のための教育環境の改善に資するものである。

建物の概要は、鉄骨造地上 4 階建て、建築面積は 792.94 m²となっており、平成 25 年 3 月 21 日に竣工した。

階数	床 面 積	用 途
1	7 3 1. 1 0 m ²	エントランスホール、事務室、応接室
2	7 0 3. 3 4 m ²	小講義室、ゼミ室、教務学生課
3	6 9 9. 9 8 m ²	中講義室、ゼミ室、講師控室
4	7 4 7. 8 6 m ²	大講義室

○大阪歯科大学 100 年史、大阪歯科大学大学院 50 年史などの記念出版物の刊行

—「大学 100 年史」・「大学院 50 年史」・「創立 100 周年記念の栞」—

平成 21 年 11 月に大学 100 年史・大学院 50 年史・出版物実行委員会が設けられ、第 1 回委員会が平成 22

年 3 月 10 日に開催され、本格的に編纂作業が行われた。平成 24 年 12 月 12 日全ての作業を終了し、無事刊行の運びとなった。

また、一連の記念式典の状況を多数の写真で記録した「創立 100 周年記念の葉」は、平成 24 年 10 月に刊行した。

2. 第 22 回日本歯科医学会総会の主幹校

「お口の健康 全身元気—各世代の最新歯科医療—」をメインテーマに、平成 24 年 11 月 9 日（金）から 11 日（日）まで、インテックス大阪、リーガロイヤルホテル、グランキューブ大阪の 3 会場で開催された。

大阪では実に 21 年ぶりの大会となり、本学は主幹校としてその総力を挙げて取り組んだ。

開会講演は、高橋和利氏（京都大学 iPS 細胞研究所 初期化機構研究部門講師）により、「iPS 細胞研究の進展」をメインテーマとし、本学の川添理事長・学長を座長に多数の聴講者のもと好評を博した。本学からは学部学生、専門学校生も数多く参加し、現代科学におけるもっともホットな話題に熱心に耳を傾けていた。

大阪国際会議場では、最新の研究内容をテーマとした講演、シンポジウム、国際セッションなど多彩なプログラムが行われた。

インテックス大阪では、テーブルクリニック、分科会プログラムが開催された他、併催の日本デンタルショー2012 では、最新鋭の歯科医療機器が展示され、いずれも多数の参加者で盛況であった。

また、この総会では、初めての試みとして、大阪国際会議場に国公私立歯科大学・歯学部の現在を紹介するブースが設置され、本学のほか 10 大学が参加して多数の大会参加者、同窓生が訪れた。

[附属資料]

1. 平成 24 年度学生数 （ ）は女子 (平成 24 年 5 月 1 日現在)

大学	第 1 学年	132 (48)
	第 2 学年	149 (63)
	第 3 学年	132 (56)
	第 4 学年	125 (52)
	第 5 学年	127 (44)
	第 6 学年	<u>151 (53)</u>
		816 (316)

大学院	第 1 学年	21 (12)
	第 2 学年	30 (13)
	第 3 学年	24 (12)
	第 4 学年	<u>24 (10)</u>
		99 (47)

歯科技工士専門学校	1 年	16 (3)
	<u>2 年</u>	<u>17 (6)</u>
		33 (9)
	専攻科 1 年	5
	<u>専攻科 2 年</u>	<u>1</u>
		6

歯科衛生士専門学校	1 年	54 (54)
	2 年	54 (54)
	<u>3 年</u>	<u>45 (45)</u>
		153 (153)

2. 第 106 回歯科医師国家試験の結果

平成 25 年 3 月 19 日合格発表

総 数	受験者数	合格者数	合格率(%)
本 学	182	115	63.2
全 国	3,321	2,366	71.2
新 卒	受験者数	合格者数	合格率(%)
本 学	105	78	74.3
全 国	2,373	1,907	80.4
既 卒	受験者数	合格者数	合格率(%)
本 学	77	37	48.1
全 国	948	459	48.4

3. 平成 25 年度入学試験状況

		志願者	合格者	入学者
大学	推薦入試	43	38	128
	一般入試（前期）	168	87	
	一般入試（後期）	75	3	
	編入学（前期）	8	6	10
	編入学（後期）	6	4	
大学院	一般入試（一次）	9	8	25
	一般入試（二次）	17	15	
	外国人留学生特別選抜	2	2	
歯科技工士専門学校	歯科技工士学科	18	17	15
	専攻科	11	11	11
歯科衛生士専門学校		76	54	51

4. 大学・大学院入学式 平成 24 年 4 月 5 日（木）
午前 10 時（於：楠葉学舎）

5. 平成 23 年度会計実査 平成 24 年 4 月 5 日（木）

6. 平成 24 年度大学新入生研修
平成 24 年 4 月 9 日（月）午前 9 時
（於：牧野学舎）
平成 24 年 4 月 10 日（火）午前 9 時
（於：楠葉学舎）

7. ハイテック・リサーチ・センター整備事業「歯周病
に対する戦略的研究」第 2 回研究成果報告会
平成 24 年 4 月 21 日（土）午前 11 時
（於：楠葉学舎）

8. 平成 24 年度 F D 研修会
・第 1 回 平成 24 年 5 月 9 日（水）午後 5 時～
午後 6 時 40 分（於：楠葉学舎）
「共用試験歯学系 CBT 試験問題作成について」
59 名出席
・第 2 回 平成 24 年 5 月 14 日（月）午後 5 時 10 分
～午後 6 時 40 分
「共用試験歯学系 CBT 試験問題作成について」

90 名出席（於：天満橋学舎）

- ・第 3 回 平成 24 年 8 月 31 日（金）、9 月 1 日
（土） 44 名出席
「第 6 回カリキュラムプランニングのためのワー
クショップ開催について」
（於：ホテルコスモスクエア国際交流センター）
- ・第 4 回 平成 24 年 9 月 26 日（水）午後 4 時～
午後 5 時（於：楠葉学舎）
「教員による授業参観」 11 名出席
- ・第 5 回 平成 25 年 2 月 2 日（土）午前 9 時～
午後 5 時（於：楠葉学舎）
「問題作成に関するワークショップ」 32 名出席

9. 体育総会 平成 24 年 5 月 12 日（土）午後 2 時
（於：楠葉学舎）

10. 平成 23 年度監事監査 平成 24 年 5 月 14 日、
15 日（於：楠葉学舎）

11. 解剖体慰霊祭 平成 24 年 5 月 18 日（金）午後
2 時（於：四天王寺）

12. オープンキャンパス（於：楠葉学舎）
・第 1 回 平成 24 年 5 月 27 日（日）
午前 11 時～午後 4 時 38 名参加
・第 2 回 平成 24 年 7 月 22 日（日）
午前 11 時～午後 4 時 94 名参加
・第 3 回 平成 24 年 8 月 26 日（日）
午前 11 時～午後 4 時 97 名参加
・第 4 回 平成 24 年 11 月 3 日（土）
午前 10 時～午後 12 時 10 分 31 名参加
・第 5 回 平成 24 年 11 月 4 日（日）
午前 10 時～午後 12 時 10 分 40 名参加

13. 大学父兄会・共済会総会（於：楠葉学舎）
平成 24 年 6 月 30 日（土）午後 1 時
父兄出席者数 295 名

14. 平成 24 年度薬物乱用防止講演会
平成 24 年 7 月 10 日（火）午前 10 時 30 分
（於：楠葉学舎）
講 師：大阪府警察本部刑事部薬物対策課

小川 浩一 警部

対象者：第 1 学年、約 140 名出席（教職員含む）

15. 第 44 回全日本歯科学学生総合体育大会
（当番校：鹿児島大学歯学部）
平成 24 年 8 月 1 日（水）～13 日（月）総合第 7 位
16. 平成 24 年度地方父兄会（四国地区）（於：JR ホ
テルクレメント高松）
平成 24 年 8 月 12 日（日）午後 1 時
父兄出席者数 12 名
17. スチューデントアシスタントの採用
11 名（1 年 4 名、2 年 5 名、5 年 2 名）を採用
18. 大学特待生の採用
第 2 学年 2 名・第 3 学年 1 名・第 4 学年 2 名、
授業料 100 万円免除
第 5 学年 2 名・第 6 学年 2 名、授業料半額免除
19. 大学学内奨学生選考
4 名の学生に対して総額 3,500,000 円の奨学金を
貸与
20. 平成 24 年度教職員子弟の大学授業料減免
6 名減免 計 6,000,000 円
21. 第 20 回公開講座
・メインテーマ 「歯との長いお付き合い」
・日程 天満橋講座 平成 24 年 9 月 1 日（土）、
8 日（土）
受講者延べ 225 名
（於：天満橋学舎）
枚方講座 平成 25 年 2 月 23 日（土）、
3 月 2 日（土）
受講者延べ 352 名
（於：楠葉学舎）
（時間はいずれも午後 1 時～午後 3 時 30 分）
22. 第 6 学年父兄懇談会（於：楠葉学舎）
平成 24 年 9 月 17 日（月）午後 1 時
父兄出席者数 70 名

23. 平成 24 年度大学祭（テーマ：START）
・体育祭 平成 24 年 10 月 27 日（土）
（於：牧野学舎）
・文化祭 平成 24 年 11 月 3 日（土）、4 日（日）
（於：楠葉学舎）
24. 第 22 回日本歯科医学会総会（主幹校：大阪歯科
大学）
平成 24 年 11 月 9 日（金）～11 日（日）
（於：大阪国際会議場、インテックス大阪）
「お口の健康全身元気ー各世代の最新歯科医療ー」
25. 平成 24 年度自衛消防訓練
楠葉学舎 平成 24 年 11 月 19 日（月）
牧野学舎 平成 24 年 12 月 3 日（月）
天満橋学舎 平成 24 年 10 月 2 日（火）
26. 実験動物慰霊祭 平成 24 年 11 月 30 日（金）
午後 1 時 30 分（於：牧野学舎）
27. 平成 24 年度全学教職員忘年慰労会
平成 24 年 12 月 28 日（於：天満橋学舎）
28. 平成 25 年新年互礼会
平成 25 年 1 月 7 日（於：楠葉学舎）
29. 平成 24 年度解剖体遺骨返還式（於：楠葉学舎）
平成 25 年 2 月 22 日（金）午後 2 時
30. 平成 24 年度共用試験歯学系 CBT 並びに OSCE
・CBT 平成 25 年 3 月 1 日（金）
午前 9 時 30 分（於：楠葉学舎）
・OSCE 平成 25 年 3 月 17 日（日）
午前 9 時 30 分（於：天満橋学舎）
31. 平成 24 年度卒業式並びに大学院学位認証式
平成 25 年 3 月 8 日（金）午前 10 時
（於：楠葉学舎）
32. 平成 24 年度歯科医師臨床研修修了証書授与式
平成 25 年 3 月 26 日（火）午後 2 時 30 分
（於：天満橋学舎）

33. 平成 25 年度臨床研修歯科医の募集定員
単独型研修方式 40 名、複合型研修方式 120 名
34. 楠葉学舎「医務室」の開設（平成 24 年 4 月 1 日）
嘱託医師 勤務日時：毎週木曜 10 時から 16 時まで
35. 大阪歯科大学創立 100 周年記念館
・起工式 平成 24 年 4 月 17 日（火）午前 10 時
・竣工式 平成 25 年 3 月 21 日（木）午前 10 時
36. 学位授与
学位記番号 甲第 692 号～ 715 号
24 名に学位記授与
学位記番号 乙第 1574 号～1575 号
2 名に学位記授与
37. 平成 24 年度法人理事会・法人評議員会・主任教授会・教授会・大学院研究科会議
1) 法人理事会 14 回開催
（平成 24 年 4 月 24 日、5 月 24 日(2 回)、6 月 28 日、7 月 26 日、8 月 23 日、9 月 27 日、10 月 25 日、11 月 29 日、12 月 28 日、平成 25 年 1 月 24 日、2 月 28 日、3 月 29 日(2 回)）
2) 法人評議員会 2 回開催
（平成 24 年 5 月 24 日、平成 25 年 3 月 29 日）
3) 主任教授会 20 回開催
（平成 24 年 4 月 11 日、5 月 9 日、6 月 13 日、7 月 18 日、8 月 8 日、9 月 12 日、10 月 10 日、11 月 5 日、11 月 14 日、11 月 21 日、11 月 28 日、12 月 12 日、12 月 26 日、平成 25 年 1 月 9 日、1 月 25 日、1 月 31 日、2 月 13 日、3 月 6 日、3 月 13 日、3 月 28 日）
4) 教授会 2 回開催
（平成 24 年 4 月 11 日、平成 25 年 3 月 28 日）
5) 大学院研究科会議 16 回開催
（平成 24 年 4 月 23 日、5 月 23 日、6 月 27 日、7 月 25 日、8 月 22 日、9 月 26 日、10 月 10 日、10 月 24 日、11 月 28 日、12 月 26 日、平成 25 年 1 月 23 日、2 月 13 日、2 月 27 日、3 月 27 日）
38. 本学関係 叙位・褒章・叙勲の受章者等

- 1) 叙位
故 太田 義邦 名誉教授 正五位
（平成 24 年 6 月 6 日付）
- 2) 褒章
大学 19 回 福島 善彦 高知県 藍綬褒章
共 2 名
- 3) 叙勲
専門 31 回 成瀬 悟 大阪府 瑞宝小綬章
共 11 名
39. 川添理事長・学長
・日本私立大学協会常務理事就任（任期：平成 24 年 4 月 27 日～平成 28 年 3 月 31 日）
・日本私立歯科大学協会副会長就任
（任期：平成 24 年 6 月 29 日～平成 25 年 3 月 31 日）
・文部科学省 歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議委員就任（任期：平成 24 年 7 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）
・健康医療都市ひらかたコンソーシアム副会長就任
40. 枚方市との連携協定等
・枚方市との連携協定締結（平成 24 年 7 月 18 日付）
・健康医療都市ひらかたコンソーシアム協定締結（平成 24 年 8 月 4 日付）
枚方市と 12 団体（保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、3 大学、5 病院）
41. 教職員数（平成 25 年 3 月 1 日現在：392 名）
1) 大学 375 名
教員数 201 名
学長 1 名、主任教授 25 名、専任教授 5 名、准教授 31 名、講師 62 名、助教 74 名、病院教授 2 名、病院助教 1 名
職員数 174 名
事務・技術 75 名、医療 98 名、労務 1 名
- 2) 歯科技工士専門学校 9 名
教員 7 名、事務 2 名
- 3) 歯科衛生士専門学校 8 名
教員 6 名、事務 2 名

42. 人事

1. 法人関係

依願退職 法人顧問 増田 次郎

2. 退職

1) 定年退職

薬理学講座 准教授 篠原 光子 共 11 名

2) 依願退職

内科学講座 講師 長野 豊 共 24 名

3) 任期制教員任期満了退職

薬理学講座 助教 石塚 智子 共 2 名

4) 再雇用契約満了退職

附属病院 放射線技師 櫻井 邦昭 共 3 名

5) 死亡退職

内部監査室 室長 安藤 孝幸

(平成 24 年 8 月 19 日付)

3. 昇任

1) 主任教授

物理学教室 准教授 辻林 徹

(平成 24 年 5 月 1 日付)

2) 退職に伴う教授特別昇任

薬理学講座 准教授 篠原 光子 共 4 名

3) 准教授

有歯補綴咬合学講座 講師 田中 順子

4) 退職に伴う准教授特別昇任

歯科麻酔学講座 講師 百田 義弘

5) 講師

歯科保存学講座 助教 谷本 啓彰 共 4 名

6) 講師昇任及び所属変更

口腔病理学講座 助教 益野 一哉

新所属：歯科医学教育開発室

7) 専門学校教務主任

歯科衛生士専門学校 頭山 高子

8) 職員

大学事務部長 牧谷 弘幸 共 9 名

4. 任用

1) 助教

歯科保存学講座 博士（歯学） 宮地 秀彦

共 16 名

2) 大学院教員

大学院教授 諏訪 文彦 共 21 名

大学院准教授 竹村 明道 共 22 名

大学院講師 上村 守 共 29 名

大学院助教 戸田 伊紀 共 25 名

3) 臨床教授

口腔インプラント科 江藤 隆徳 共 2 名

4) 専門学校教員

歯科衛生士専門学校 助手 寺島 雅子

共 2 名

5) 職員

附属病院 看護師 小川 千鶴 共 6 名

6) 任期付事務職員新規採用

教務学生課 課長 中山 勝美

5. 任期制教員契約更新

化学教室 助教 牧田 佳真 共 11 名

6. リサーチ・アシスタント採用

病理学 RA 嘉藤 弘仁 共 5 名

7. 所属異動

法人事務部 亀井 崇 共 12 名

8. 兼務

教務学生課 課長 松村 誠一 共 3 名

9. 定年退職後再雇用

総務課総務担当 事務職員 仲宗根 幸男 共

4 名

10. 定年退職後再々雇用

附属病院 放射線技師 櫻井 邦昭 共 3 名

11. 委嘱

1) 大学役職者（平成 24 年 4 月 1 日付）

副学長	諏訪 文彦
総務部長	小正 裕
教務部長	田中 昭男
学生部長	川合 進二郎
図書館長	小谷 順一郎
附属病院病院長	覚道 健治
大学院研究科科長	西川 泰央
中央歯学研究所所長	武田 昭二
教育情報センター所長	佐ノ木 幸夫
国際交流部長	山本 一世
附属病院副病院長	森田 章介
附属病院副病院長	林 宏行
附属病院副病院長	田中 昌博

2) Honorary Visiting Professor

英国キングスカレッジロンドン大学
歯学部長 Elizabeth Dianne Rekow

3) 客員教授

- 大阪歯科大学附属病院 元病院教授
北條 博一 共 6 名
- 4) Visiting Professor
韓国慶熙大学校歯科大学
教授 Young-Guk Park 共 7 名
- 5) 平成 24 年度講師（非常勤）
解剖学講座 清水 孝治 共 413 名
平成 24 年度大学院講師（非常勤）
解剖学 江原 大輔 共 48 名
(以上 平成 24 年 4 月 1 日付)
- 6) 産業医
内科学講座 准教授 大久保 直 共 2 名
- 7) 嘱託
梅垣麻酔科クリニック 院長（医師）
梅垣 裕 共 20 名
- 8) 病院医員 61 名
- 9) 臨床准教授称号付与 2 名
- 10) 臨床講師 77 名
- 11) 平成 24 年度ポストドクトラルフェロー
歯内治療学 柿木 栄幸 共 2 名
- 12) 平成 24 年度ティーチングアシスタント委嘱
病理学専攻科 国分 麻佑 共 8 名
- 13) 学生相談室カウンセラー委嘱
臨床心理士 畑 聡美 共 2 名
- 14) 各種委員会委員長
(1) 大学関係（平成 24 年 4 月 1 日付）
総務部委員会委員長 小正 裕
教務部委員会委員長 田中 昭男
廃棄物処理委員会委員長 小正 裕
図書館運営委員会委員長 小谷順一郎
図書資料選択委員会委員長 小谷順一郎
学生部委員会委員長 川合進二郎
学内食堂管理運営委員会委員長 川合進二郎
教育情報センター管理運営委員会委員長 佐ノ木幸夫
健康管理委員会委員長 覚道 健治
国際交流部委員会委員長 山本 一世
学術研究奨励助成金交付審査委員会委員長
兼共同研究助成審査委員会委員長 田中 昭男
カリキュラム委員会委員長 諏訪 文彦

- 共用歯学 CBT 委員会委員長 西川 泰央
共用歯学 OSCE 実行委員会委員長 山本 一世
ブラッシュアップ委員会委員長 松本 尚之
FD 委員会委員長 森田 章介
入試委員会委員長 田中 昭男
公開講座委員会委員長 清水谷公成
セクシュアル・ハラスメント防止委員会委員長 川添 堯彬
サイバーキャンパス審議委員会委員長 佐ノ木幸夫
ホームページ委員会委員長 佐ノ木幸夫
知的財産委員会委員長 覚道 健治
教員評価委員会委員長 川添 堯彬
大学院委員会委員長 西川 泰央
中央歯学研究所委員会委員長 武田 昭二
- (2) 法人関係
財務企画委員会委員長 川添 堯彬
財務企画委員会病院の運営に関する事項部会
部会長 覚道 健治
財務企画委員会牧野学舎将来計画作業部会
部会長 下村錢三郎
財務企画委員会給与部会部会長 三谷 卓
財務企画委員会経営部会部会長 下村錢三郎
退職資金管理運営委員会委員長 三谷 卓
業者登録選考委員会委員長 下村錢三郎
学術研究奨励基金管理運営委員会委員長 下村錢三郎
環境管理委員会委員長 覚道 健治
枚方資料センター管理運営委員会委員長 覚道 健治
予算委員会委員長 下村錢三郎
人事委員会委員長 三谷 卓
自己点検運営委員会委員長 川添 堯彬
自己点検実施委員会委員長 川添 堯彬
ODU ウェルネス・ホール管理運営委員会
委員長 小正 裕
広報委員会委員長 川添 堯彬

人権啓発推進委員会委員長 川添 堯彬
 個人情報保護委員会委員長 川添 堯彬
 個人情報保護委員会大学部門委員会委員長
 諏訪 文彦
 個人情報保護委員会病院部門委員会委員長
 覚道 健治
 個人情報保護委員会事務部門委員会委員長
 牧谷 弘幸
 大阪歯科大学附属病院財務改善検討委員会
 委員長 下村錢三郎
 資産運用検討委員会委員長 伊達 洋彦
 学校法人大阪歯科大学利益相反検討委員会
 委員長 覚道 健治
 専門学校の大学・短大化に関する検討委員会
 委員長 三谷 卓
 附属病院経営改善委員会委員長
 川添 堯彬
 学校法人大阪歯科大学省エネルギー推進委員
 会委員長 下村錢三郎
 楠葉学舎衛生委員会委員長 川合進二郎
 天満橋附属病院衛生委員会委員長
 清水谷公成

15) 学年指導教授・助言教員・特別アドバイザー
 (平成 24 年 4 月 1 日現在)

学年指導教授 1 年 藤原 眞一
 2 年 武田 昭二
 3 年 西川 泰央
 4 年 松本 尚之
 5 年 山本 一世
 6 年 岡崎 定司
 副指導教授 6 年 梅田 誠
 教育アドバイザー
 1・2・3・4・6 年 王 宝禮
 5 年 有田 清三郎
 助言教員 1 年 李 嘉永 共 8 名
 2 年 中塚 美智子 共 8 名
 3 年 西川 哲成 共 8 名
 4 年 川崎 弘二 共 8 名
 特別アドバイザー
 5 年 吉峰 茂樹 共 11 名
 6 年 竹村 明道 共 22 名

16) 平成 24 年度学友会会長

主任教授 松本 尚之

43. 学外活動

- 1) 教授海外視察
 歯科矯正学講座 主任教授 松本 尚之
- 2) 教員海外研修
 歯科麻酔学講座 助教 讃岐 拓郎 共 3 件
- 3) 教員海外出張
 学長 川添 堯彬 共 136 件
- 4) 特別研究員派遣
 歯科麻酔学講座 講師・百田 義弘 共 1 名
 派遣先：徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部ライフシステム部門 生命システム工学
 期間：平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日 (年 2 回)
- 5) 共同研究員受入
 長浜バイオ大学 環境微生物学研究室 4 回生 大黒 健二
 受入講座：細菌学講座 (期間：平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日) 共 5 件
- 6) 外国人共同研究者受入
 氏名 Shuchi Tripathi
 所属 Department of Prosthodontics,
 Faculty of Dental Sciences C.S.M.
 Medical University
 受入講座：有歯補綴咬合学講座
 期間：平成 24 年 9 月 2 日～平成 24 年 10 月 1 日
- 7) 国際交流
 - (1) 中国 5 大学との共同研究
 - ・受入
 北京大学口腔医学院 2 名 (期間：平成 24 年 8 月 24 日～9 月 4 日)
 - ・派遣
 西安第四軍医大学口腔医学院 (期間：平成 24 年 9 月 13 日～17 日)
 歯科麻酔学講座 小谷教授、佐久間准教授
 - (2) 海外協定校との学生交流
 - ・受入
 シドニー大学 学生 5 名 (期間：平成 24 年 11 月 24 日～12 月 7 日)
 北京大学 学生 3 名、教員 1 名 (期間：平成

24 年 11 月 25 日～12 月 1 日)

・派遣

南方医科大学口腔医学院 学生 6 名 (2 年 2 名、3 年 4 名)

引率教員：大島講師 (期間：平成 24 年 7 月 17 日～22 日)

シドニー大学歯学部 学生 5 名 (3 年 3 名、4 年 2 名)

引率教員：蠅庭講師 (口外Ⅱ) (期間：平成 24 年 8 月 4 日～13 日)

コロンビア大学歯学部 学生 9 名 (5 年)

引率教員：藤田准教授 (英語) (期間：平成 25 年 3 月 9 日～19 日)

(3) King's College London Rekow 歯学部長特別講演

平成 24 年 11 月 7 日 (水) 午後 4 時

(於：天満橋学舎)

44. 補助金・助成金

1) 平成 24 年度大阪歯科大学学術研究奨励助成金交付 (13 件)

助成金交付額 3,900,000 円

2) 平成 24 年度大阪歯科大学学術研究奨励資金 3,429,000 円

3) 平成 24 年度科学研究費補助金交付 (文部科学省)

- ・基盤研究 (C) 36 件
- ・挑戦の萌芽研究 1 件
- ・若手研究 (B) 23 件
- ・研究活動サポート支援 1 件 計 61 件

補助金交付額 76,800,000 円

(間接経費 23,040,000 円)

合計 99,840,000 円)

4) 平成 24 年度私立大学等経常費補助金交付額 453,571,000 円

5) 平成 24 年度私立大学等研究設備整備費等補助金 (私立大学等研究設備等整備費)

「走査型 X 線光電子分光分析装置」

交付額 26,600,000 円

6) 平成 24 年度私立学校施設整備費補助金 (私立学校教育研究装置等施設整備費 (私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費))

「歯科診療チェアユニット及びファントム」

交付額 31,500,000 円

7) 平成 24 年度臨床研修費等補助金交付額 108,565,000 円

8) 国際交流助成

歯科放射線学講座 主任教授 清水谷 公成 共 61 名に対し 13,536,241 円の助成

9) 寄贈

大阪歯科大学共済会 理事長 川添 堯彬 共 5 件合計として 300,000,000 円

45. 諸規程

1) 大阪歯科大学学則 (一部改正)

2) 学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程 (一部改正)

3) 任期制教員の再任用基準に関する申し合わせ (一部改正)

4) 大阪歯科大学大学院歯学研究科専攻科教員任用規程 (一部改正)

5) 大学院教授候補者資格審査に関する申し合わせ事項 (一部改正)

6) 大学院教員の資格条件に関する申し合わせ事項 (一部改正)

7) 学校法人大阪歯科大学経理規程 (一部改正)

8) 大阪歯科大学附属病院病院医員就業規則

(一部改正)

9) 大阪歯科大学附属病院臨床研修歯科医就業規則 (一部改正)

10) 臨床准教授称号付与の選考基準に関する申し合わせ (施行)

11) 大阪歯科大学歯科技工士専門学校学則

(一部改正)

(以上 平成 24 年 4 月 1 日付)

12) 大阪歯科大学学生部委員会規程 (一部改正)

(平成 24 年 4 月 11 日付)

13) 学校法人大阪歯科大学診療報酬手当規程

(一部改正)

(平成 24 年 4 月 24 日付)

14) 学校法人大阪歯科大学任期付事務職員就業規則

(施行)

(平成 24 年 5 月 24 日付)

15) 大阪歯科大学特別聴講生に関する申し合わせ

(一部改正)

(平成 24 年 6 月 28 日付)

16) 臨床研修歯科医表彰候補者選考委員会規程

(施行)

(平成 24 年 7 月 4 日付)

- 17) 学校法人大阪歯科大学衛生委員会規程（施行）
（平成 24 年 7 月 26 日付）
- 18) 大阪歯科大学大学院歯学研究科専攻科教員任用
規程（一部改正）
- 19) 学校法人大阪歯科大学事務職員等人事評価規程
（施行）
- 20) 学校法人大阪歯科大学育児休業等規程
（一部改正）
- 21) 学校法人大阪歯科大学介護休業等規程
（一部改正）
（以上 平成 24 年 9 月 27 日付）
- 22) 学校法人大阪歯科大学省エネルギー推進委員会
規程（施行）（平成 24 年 10 月 25 日付）
- 23) 第 1 学年～第 4 学年の再入学申合せ事項（施行）
（平成 25 年 1 月 24 日付）
- 24) 学校法人大阪歯科大学財務情報公開規程（施行）
（平成 25 年 3 月 29 日付）

平成 24 年度 監事監査報告

平成 24 年度会計決算にあたり、平成 25 年 5 月 13 日（月）、14 日（火）の 2 日間にわたり、楠葉学舎 5 号館 3 階大会議室において監事監査を実施した。

監査を始めるにあたり、川添理事長より、安定した財政基盤の確立につながる監査が要請された。監査には、前田、古川両監事のほか川添理事長、下村常務理事、田中常務理事、藤野理事、伊達理事、亀井法人事務局長、中尾経理部長、牧谷大学事務部長、松村大学管理部長および高須大学企画部長が立ち会った。

平成 24 年度監事監査の報告は以下のとおりである。

記

平成 25 年 5 月 15 日

平成 24 年度監事監査報告書

学校法人 大阪歯科大学
理事長 川添 堯彬 殿

学校法人 大阪歯科大学
監事 前田 眞治
監事 古川 壽男

私たちは、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人大阪歯科大学寄附行為第 13 条の規定に基づき、平成 24 年度（平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）の学校法人の業務、財産の状況及び計算書類等、すなわち事業報告書、資金収支計算書（人件費内訳表を含む）、消費収支計算書、貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）及び財産目録について監査を行った結果、次のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

私たちは、理事会及び評議員会に出席し、理事からの事業の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続きを実施いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載と一致し、法令及び寄附行為に従い、収支状況及び財産状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の業務執行に関しては、不正の行為はなく、かつ、法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はありません。

以上

平成 24 年度 決算報告

平成 24 年度決算は、平成 25 年 5 月 30 日に開催された法人理事会で承認され、同日に開催された第 148 回評議員会に報告されました。

平成 24 年度決算における「資金収支計算書」、「消費収支計算書」、「貸借対照表」の概要は次のとおりです。

平成24年度 資金収支計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：円)

収入の部

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	4,804,760,000	4,806,380,000	△ 1,620,000
手 数 料 収 入	33,055,000	25,669,780	7,385,220
寄 付 金 収 入	34,550,000	347,153,107	△ 312,603,107
補 助 金 収 入	572,488,000	563,284,706	9,203,294
資 産 運 用 収 入	248,124,000	233,771,036	14,352,964
事 業 収 入	1,929,861,000	1,986,085,312	△ 56,224,312
雑 収 入	359,408,000	502,211,803	△ 142,803,803
前 受 金 収 入	944,300,000	492,840,000	451,460,000
そ の 他 の 収 入	2,197,636,000	2,437,903,953	△ 240,267,953
資金収入調整勘定	△ 1,464,664,000	△ 1,619,243,249	154,579,249
小 計	9,659,518,000	9,776,056,448	△ 116,538,448
前年度繰越支払資金	4,148,247,095	4,148,247,095	
収入の部合計	13,807,765,095	13,924,303,543	△ 116,538,448

支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	4,677,665,000	4,757,881,287	△ 80,216,287
教育研究経費支出	1,919,000,000	1,836,334,132	82,665,868
管 理 経 費 支 出	507,753,000	510,788,085	△ 3,035,085
施 設 関 係 支 出	1,000,513,000	1,003,448,314	△ 2,935,314
設 備 関 係 支 出	177,383,900	204,345,033	△ 26,961,133
資 産 運 用 支 出	1,962,774,000	1,888,136,020	74,637,980
そ の 他 の 支 出	417,531,000	314,311,785	103,219,215
「 予 備 費 」	(8,374,900) 91,625,100		91,625,100
資金支出調整勘定	△ 368,494,000	△ 283,141,301	△ 85,352,699
小 計	10,385,751,000	10,232,103,355	153,647,645
次年度繰越支払資金	3,422,014,095	3,692,200,188	△ 270,186,093
支出の部合計	13,807,765,095	13,924,303,543	△ 116,538,448

(注) 予備費使用内訳

教育研究経費支出	国際交流費支出	5,000,000
管理経費支出	報酬委託費支出	1,500,000
管理経費支出	雑費支出	1,575,000
設備関係支出	その他の機器備品支出	299,900
合 計		8,374,900

ODU NEWS No.168

平成24年度 消費収支計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(単位：円)

消費収入の部

科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 生 徒 等 納 付 金	4,804,760,000	4,806,380,000	△ 1,620,000
手 数 料	33,055,000	25,669,780	7,385,220
寄 付 金	44,550,000	373,555,059	△ 329,005,059
補 助 金	572,488,000	563,284,706	9,203,294
資 産 運 用 収 入	248,124,000	233,291,036	14,832,964
事 業 収 入	1,929,861,000	1,986,085,312	△ 56,224,312
雑 収 入	359,408,000	502,211,803	△ 142,803,803
帰 属 収 入 合 計	7,992,246,000	8,490,477,696	△ 498,231,696
基本金組入額合計	△ 995,719,000	△ 1,077,040,589	81,321,589
消費収入の部合計	6,996,527,000	7,413,437,107	△ 416,910,107

消費支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費	4,309,301,000	4,449,295,976	△ 139,994,976
教 育 研 究 経 費	2,717,396,000	2,645,756,692	71,639,308
管 理 経 費	671,944,000	673,990,378	△ 2,046,378
資 産 処 分 差 額	0	10,980,799	△ 10,980,799
徴収不能引当金繰入額	0	1,426,000	△ 1,426,000
徴 収 不 能 額	0	99,980	△ 99,980
「 予 備 費 」	(8,075,000) 91,925,000		91,925,000
消 費 支 出 の 部 合 計	7,790,566,000	7,781,549,825	9,016,175

当年度消費支出超過額	794,039,000	368,112,718	
前年度繰越消費支出超過額	19,943,205,374	19,943,205,374	
基本金取崩額	4,202,000	30,625,132	
翌年度繰越消費支出超過額	20,733,042,374	20,280,692,960	

(注) 予備費使用内訳

教育研究経費	国際交流費	5,000,000
管理経費	報酬委託費	1,500,000
管理経費	雑 費	1,575,000
合 計		8,075,000

1. 平成24年度資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に対応する全ての収入および支出ならびに支払資金の収支の顛末を明らかにするものです。

資金収入は、学生生徒等納付金収入、補助金収入、事業収入などの法人に帰属する収入のほか、前受金収入なども含め、97億7605万円となりました。一方、資金支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費に加え、「創立100周年記念館」の建設費を含む施設、設備関係支出などにより、102億3210万円となりました。

この結果、収支差引4億5604万円の資金不足となり、これを前年度繰越支払資金41億4824万円に加算した結果、次年度繰越支払資金は36億9220万円に減少しました。

2. 平成24年度消費収支計算書

消費収支計算書は、資産もしくは用益の消費額（消費支出）とその補填に充当できる収入（消費収入）とを対比し、両者の均衡の有無を明らかにするものです。

帰属収入は、学生生徒等納付金、補助金、事業収入などの法人に帰属する負債とならない収入で、84億9047万円となりました。また、基本金組入額は10億7704万円となりましたので、消費支出に充当することのできる消費収入は74億1343万円となりました。一方、消費支出は、教職員の人件費、教育研究活動および法人の運営に必要な諸経費で、77億8154万円となりました。

この結果、平成24年度決算における消費収支は、3億6811万円の消費支出超過となりました。

これにより、翌年度繰越消費収支差額は、前年度繰越消費支出超過額が199億4320万円であり、基本金取崩しが3062万円発生したため、202億8069万円の消費支出超過額計上となりました。

3. 貸借対照表

貸借対照表は、会計年度末時点における財政状況（保有する資産と負債の状況）を表示するものです。

資産の部の合計額は、589億1766万円となり前年度末に比べ、9726万円減少しました。これは、固定資産が「創立100周年記念館」などの建物の取得等によ

り、1億8202万円増加する一方、流動資産（現金・預金）が2億7928万円減少したことによるものです。

負債の部は、前年度末比8億619万円減少して、56億9992万円となりました。

翌年度繰越消費支出超過額は、消費収支計算書の項目で説明のとおり202億8069万円でしたので、基本金の部は前年度末比10億4641万円増加して734億9842万円となりました。

貸借対照表

(平成25年3月31日)

(単位：円)

資 産 の 部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	54,575,910,534	54,393,888,254	182,022,280
有形固定資産	19,996,721,157	19,789,074,149	207,647,008
その他の固定資産	34,579,189,377	34,604,814,105	△ 25,624,728
流動資産	4,341,751,071	4,621,039,333	△ 279,288,262
資 産 の 部 合 計	58,917,661,605	59,014,927,587	△ 97,265,982

負 債 の 部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	4,483,335,706	4,800,278,544	△ 316,942,838
流動負債	1,216,591,538	1,705,842,553	△ 489,251,015
負 債 の 部 合 計	5,699,927,244	6,506,121,097	△ 806,193,853

基 本 金 の 部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金	43,033,306,675	42,012,691,759	1,020,614,916
第3号基本金	29,793,120,646	29,767,320,105	25,800,541
第4号基本金	672,000,000	672,000,000	0
基本金の部合計	73,498,427,321	72,452,011,864	1,046,415,457

消費収支差額の部

科 目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	20,280,692,960	19,943,205,374	337,487,586
消費収支差額の部合計	△ 20,280,692,960	△ 19,943,205,374	△ 337,487,586

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	58,917,661,605	59,014,927,587	△ 97,265,982

平成 25 年度 学内研究助成金

平成 25 年度大阪歯科大学学術研究奨励助成金（大学院生）が採択されました。11 件で合計 395 万円が助成されました。

平成25年度 大阪歯科大学学術研究奨励助成金(大学院生)採択一覧

課題番号	氏名	専攻	学年	研究課題	助成額(円)
13-01	嘉藤 弘仁	病理学	3	新規合成ペプチドの血管新生誘導戦略による歯周組織再生療法の構築	350,000
13-02	横田 啓太	歯科保存学	4	Er:YAGレーザー照射歯質に関する研究	350,000
13-03	小松 首人	歯科保存学	3	酸化チタンナノチューブの歯の漂白への応用	350,000
13-04	藤井 隆晶	有歯補綴咬合学	4	インプラント治療における咬合印象法の咬合接触再現性	350,000
13-05	藤野 智子	有歯補綴咬合学	4	純チタン上に析出されたナノ構造化表面の生体活性について	450,000
13-06	大城 庸嘉	口腔外科学第一	4	イヌ顎関節における自己血注入後の組織変化について	350,000
13-07	大森 裕子	歯科矯正学	3	ナノアパタイトコート生体吸収性高分子膜の評価	350,000
13-08	長家 茉耶	歯科矯正学	3	タバコ成分が歯の移動速度に及ぼす影響	350,000
13-09	西村 貴子	小児歯科学	3	新規アパタイトアイオノマーセメントの物理化学的特性に関する研究	350,000
13-10	金住 雅彦	歯科麻酔学	3	静脈内鎮静時の上気道閉塞早期感知システムの開発に関する研究	350,000
13-11	柴田 啓貴	歯科麻酔学	3	脳梗塞モデルにおける逆行性神経細胞死部位での内因性神経再生に関する研究	350,000
計 11 件					3,950,000

人 事

教員採用

耳鼻咽喉科	准教授	馬場 一泰
歯科矯正学講座	助教	有馬 良幸
小児歯科学講座	助教	河合 咲希
歯科麻酔学講座	助教	大郷英里奈
	以上	H. 25. 4. 1付

昇 任

口腔衛生学講座	准教授	川崎 弘二
口腔治療学講座	准教授	吉田 匡宏
小児歯科学講座	准教授	原田 京子
解剖学講座	講師	上村 守
有歯補綴咬合学講座	講師	佐藤 正樹
口腔外科学第二講座	講師	後藤 基宏
歯科麻酔学講座	講師	讃岐 拓郎
	以上	H. 25. 4. 1付

再任用

歯周病学講座	助教	高橋 貫之
口腔外科学第一講座	助教	佐野 寿哉
口腔外科学第一講座	助教	福田あおい
口腔外科学第二講座	助教	吉本 仁
口腔外科学第二講座	助教	正重 裕一
歯科放射線学講座	助教	秋山 広徳
	以上	H. 25. 4. 1付

職員採用

教務学生課	事務職員	藤井 健史
附属病院	放射線技師	高橋 梢吾
附属病院	看護師	今田 有香
	以上	H. 25. 4. 1付
総務課広報担当	事務職員	石田 靖代
		H. 25. 5. 1付
附属病院	放射線技師	井筒 哲也
附属病院	看護師	近藤 敏江
	以上	H. 25. 6. 1付
総務課広報担当	事務職員	南 やよい
		H. 25. 6. 12付
附属病院	看護師	田井 佳子
		H. 25. 7. 1付

再雇用

大学庶務課記念館事務室	事務職員	斎藤 俊司
同窓会事務局	事務職員	三木 慶一
医事課	事務職員	岡本 安子
総務課牧野事務室	事務職員	仲宗根幸男
附属病院	歯科技工士	加地 公夫
	以上	H. 25. 4. 1付

昇 進

法人事務局	法人事務局長	亀井 崇
大学管理部	大学管理部長	松村 誠一
大学企画部	大学企画部長	高須 聡
病院事務部	事務長	東 真一郎
専門学校事務室	事務長	西堤 京子
教育情報センター事務室	室長	岩本 匡生
病院庶務課	課長	杉浦 雅之
経理課	主任	田中 敬子
図書課	主任	南 聡子
教務学生課	主任	前住 領子
附属病院	薬剤師主任	野木 弥栄
	以上	H. 25. 4. 1付

所属異動

大学庶務課	主任	木下誠一郎
総務課牧野事務室	事務職員	小谷 泰生
医事課	事務職員	岩城 正弘
	以上	H. 25. 4. 1付
大学庶務課記念館事務室	事務職員	新谷 弘子
		H. 25. 7. 1付

兼 務

内部監査室	主任	下田 亮介
総務課	課長	松村 誠一
人事課	課長	高須 聡
	以上	H. 25. 4. 1付

依願退職

総務課広報担当	事務職員	石田 靖代
		H. 25. 5. 31付
総合診療・診断科	准教授	永目 誠吾
		H. 25. 6. 30付

委 嘱

客員教授	有田清三郎， 末瀬 一彦， 北條 博一， 五十嵐 順正， 以上	螺良 愛郎 山下 敦 二階 宏昌 明坂 年隆 H. 25. 4. 1付
------	---	---

Visiting Professor

Chitta Ranjan Choudhury	岩 朴 榮 國
金 申 濟元，	飯塚 建行
金 麗甲，	Mark McGurk
以上	H. 25. 4. 1付

嘱託 臨床心理士

畑 聡美， 以上	辻野 達也 H. 25. 4. 1付
-------------	-----------------------

嘱託 医師

永井 由巳， 津野 隆哉， 長央由里子， 梅垣 裕， 西村 哲哉， 田中 美和， 中関 典子， 以上	竹田 浩子 螺良 愛郎 奥田 恵子 奥田 隆彦 田中 会秀 木田 博 石黒 利充 友田 幸一 中辻 良幸 H. 25. 4. 1付 H. 25. 5. 1付 H. 25. 7. 1付
---	--

医療嘱託

口腔インプラント科	金平裕久美
臨床研修管理運営委員会担当	若野 正人
保険委員会担当	牧野 利彦
医事相談担当	津田 高司
	H. 25. 4. 1付
総合診療・診断科	永目 誠吾
	H. 25. 7. 1付

臨床教授

江藤 隆徳， 以上	青野 充 H. 25. 4. 1付
--------------	----------------------

臨床准教授

徳永 徹， 以上	森川 充康 H. 25. 4. 1付
-------------	-----------------------

臨床講師

江原 雄二， 熊崎 眞義， 窪田 好， 諸井 香利， 梅林 雅史， 田口 洋見， 大谷 朋弘， 太田 之博， 天羽 隆， 佐原 正恭， 藤田 宏人， 森川 勝， 中筋 宏明， 三上 淑子， 糸田 昌隆， 八竹 武史， 伊東 清文， 坂根 均， 吉次 良師， 三宅 勝俊， 西浦 勲，	岡 卓爾， 熊崎 護， 丸岡 圭一， 森本 哲司， 佐古 好正， 田口 千洋， 小川 清二， 魚住 智子， 上り口寛武， 大槻 榮人， 山崎 一郎， 嘉ノ海龍三， 石井 信行， 三上 豊， 貴島真佐子， 藤原 成樹， 河津 正文， 今上 英樹， 前田 力也， 増田 豪， 六本 裕嗣， 服部 圭代， 以上	岡 正樹 佐々木 昇 諸井 英徳 松田 純子 仲西 健樹 安田 康治 河村 達也 石原 信彦 上り口晃成 鹿野 克彦 山崎 行庸 白井 隆文 利森 仁 岩本 浩 山本 晴彦 大塚 健司 辰野 隆 山田 実抄 奥田 教之 三谷 徹 岡本 吉宏 服部 圭代 H. 25. 4. 1付
---	--	---

病院医員				予算委員会委員長			下村 錢三郎
保存修復科	渡邊 愛	岡村 優		予算委員会委員	川添 堯彬	田中 昭男	
	田口 万友美				諏訪 文彦	田中 健治	
歯内治療科	高橋 郁	田中 春菜			藤野 明	伊達 洋彦	
	吉村 真愛				小正 裕	西川 泰央	
歯周治療科	永田 梨紗	横山 博隆			川合進二郎	亀井 崇	
	國領 遥香	長田 大翼			中尾 昌彦	牧谷 弘幸	
	川口由貴子	平沼 章寛			松村 誠一	高須 聡	
	安井菜津希				東 真一郎		
高齢者歯科	木村亜以子	楠 尊行			以上	H. 25. 4. 1付	
	内藤 大介	木村麻記子					
	大郷 友規	辻本 香織		人事委員会委員		東 真一郎	
	藤井 佑果					H. 25. 4. 1付	
補綴咬合治療科（有歯）	福田 俊介	山路 厚		自己点検運営委員会委員		東 真一郎	
	藤木 傑	中島 俊輝				H. 25. 4. 1付	
	藤野 寛暁	藤林 学		自己点検実施委員会（教育・研究部門）委員		中山 勝美	
補綴咬合治療科（欠損）	草田 陽子	安藤 仁美				H. 25. 4. 1付	
	寺田 知里	本田 美祐		自己点検実施委員会（病院部門）委員		杉浦 雅之	
	森上 沙希					H. 25. 4. 1付	
口腔外科第1科	乃村 純江	花岡 理佳		ODUウェルネス・ホール管理運営委員会委員		杉浦 雅之	
	溝畑 和恵	山本 恵美				H. 25. 4. 1付	
口腔外科第2科	松尾 悠里	松田彩起子		人権啓発推進委員会委員		中山 勝美	
	尾崎 健太	奥 佳葉				H. 25. 4. 1付	
	濱田 真智	水野 成葉		個人情報保護委員会委員	東 真一郎	岩本 匡生	
矯正歯科	山岡 梓	砂田 典子			以上	H. 25. 4. 1付	
	大前 有紀	小島 智子		個人情報保護委員会大学部門委員会委員		岩本 匡生	
	穴戸 美香	安井憲一郎				H. 25. 4. 1付	
		吉田 訓子		個人情報保護委員会病院部門委員会委員		杉浦 雅之	
小児歯科・障害者歯科		豊永 達宣				H. 25. 4. 1付	
歯科麻酔科	渡辺 麻莉			個人情報保護委員会事務部門委員会委員		岩本 匡生	
	木下 郁恵					H. 25. 4. 1付	
総合診療・診断科	岩見江利華	山本 具美			杉浦 雅之	以上	
	中井 智加			大阪歯科大学附属病院財務改善検討委員会委員		東 真一郎	
臨床研修教育科	猪妻 ゆか	上田 志織				H. 25. 4. 1付	
	長谷川真也			学校法人大阪歯科大学利益相反検討委員会委員		亀井 崇	
口腔インプラント科	山本 泰右	島原 淳				H. 25. 4. 1付	
	永久 景那	橋本斉以子		附属病院経営改善委員会委員		小正 裕	
	以上	H. 25. 4. 1付				H. 25. 5. 30付	
矯正歯科	川崎 以上	下間 美沙				植木 哲	
		H. 25. 5. 1付				H. 25. 4. 1付	
ポストドクトラルフェロー				臨床研修管理運営委員会外部委員	森川 充康	徳永 徹	
口腔治療学		柿木 栄幸			以上	H. 25. 4. 1付	
口腔外科学第二		赤峯 勇哲					
	以上	H. 25. 4. 1付		第一学年	学年指導教授	藤原 眞一	
					教育アドバイザー	益野 一哉	
図書資料選択委員会委員	岡村 友玄	宮地 秀彦				王 宝禮	
	蒲生 祥子	岸本 直隆			助言教員	李 嘉永	
	牧田 佳真					牧田 佳真	
	以上	H. 25. 4. 1付				津田 進	
		田中 栄士				藤田 淳一	
		H. 25. 5. 1付		第二学年	学年指導教授	藤原 眞一	
					教育アドバイザー	益野 一哉	
教育情報センター管理運営委員会委員		古跡 孝和				上村 守	
		H. 25. 4. 1付			助言教員	岡村 友玄	
サイバーキャンパス審議委員会委員	高須 聡	東 真一郎				吉川 美弘	
	岩本 匡生					野崎 中成	
	以上	H. 25. 4. 1付		第三学年	学年指導教授	王 宝禮	
		高橋 和代			教育アドバイザー	竹村 明道	
サイバーキャンパス審議委員会オブザーバー		H. 25. 4. 1付				中塚美智子	
		東 真一郎			助言教員	大谷 政博	
ホームページ委員会委員	高須 聡					土居 貴士	
	岩本 匡生	H. 25. 4. 1付		第四学年	学年指導教授	辻林 徹	
	以上	高橋 和代			学年指導教授特別補佐	王 宝禮	
ホームページ委員会オブザーバー		H. 25. 4. 1付			教育アドバイザー	谷本 啓彰	
		杉浦 雅之			助言教員	民上 良将	
学校法人大阪歯科大学財務企画委員会		H. 25. 4. 1付				楠本 哲次	
病院の運営に関する事項部会会員		東 真一郎				農端 健輔	
		H. 25. 4. 1付		第五学年	学年指導教授	王 宝禮	
業者登録選考委員会委員		東 真一郎			教育アドバイザー	岩田 有弘	
		H. 25. 4. 1付			特別アドバイザー	緒方智壽子	
環境管理委員会委員		東 真一郎				佐藤 正樹	
		H. 25. 4. 1付				山田 耕治	
枚方資料センター管理運営委員会委員		東 真一郎					
		H. 25. 4. 1付					
学校法人大阪歯科大学							
省エネルギー推進委員会委員	松村 誠一	東 真一郎					
	以上	H. 25. 4. 1付					

ODU NEWS No.168

第六学年	学年指導教授	飯田 拓二， 四井 資隆，	竹安 正治 謙岐 拓郎 林 宏行
	学年副指導教授		
	教育アドバイザー	梅田 誠， 益野 一哉， 戸田 伊紀， 上田 甲寅， 富永 和也， 大島 浩， 田村 功， 野崎 中成， 山中 武志， 井上 博， 川崎 弘二， 橋本 典也， 古跡 孝和， 以上	梅田 誠 王 宝禮 吉川 一志 吉田 匡宏 田口 洋一郎 伊崎 克弥 田中 順子 山本 さつき 松本 和浩 中嶋 正博 居波 薫 原田 京子 岸本 直隆 H. 25. 4. 1付
学友会会長 学友会副会長			松本 尚之 岡崎 定司 H. 25. 4. 1付
		以上	
大阪歯科大学附属病院歯科医師臨床研修プログラム			
	総括責任者		覚道 健治
	副総括責任者	森田 章介， 田中 昌博	林 宏行
	院内研修担当者部会長		岡崎 定司
	院外研修担当者部会長		小出 武
	保存系責任者		梅田 誠
	補綴系責任者		岡崎 定司
	口腔外科系責任者		森田 章介
	単独型プログラム責任者		前田 照太
	単独型副プログラム責任者		紺井 拓隆
	複合型プログラム責任者		松本 尚之
	複合型副プログラム責任者	谷本 啓彰， 河野 智生， 楠本 哲次， 松本 和浩， 西浦 亜紀， 原田 京子， 新井 是宣， 小川 文也， 小野 忠則， 吉川 一志， 畠 銀一郎， 民上 良将， 伊崎 克弥， 楠本 哲次， 西崎 宏， 松本 和浩， 飯田 拓二， 原田 京子， 新井 是宣， 米谷 裕之， 山本 一世， 岩田 有弘， 竹内 撰， 保尾 謙三， 吉田 匡宏， 至田 宗泰， 池永 英彰， 辻 則正， 緒方 智壽子， 伊崎 克弥， 柿本 和俊， 井上 太郎， 田中 栄土， 田中 順子， 鳥井 克典， 大河 貴久， 兼平 治和， 山本 さつき， 前田 武志， 坂井 大吾， 吉田 博昭， 田伏 信， 福田 あおい，	畠 銀一郎， 高橋 一也， 西崎 宏， 中嶋 正博， 古跡 孝和， 謙岐 拓郎， 護 治正， 池 優子， 啓彰 啓彰， 宗泰 宗泰， 智生 智生， 和俊 和俊， 克典 克典， 茂樹 茂樹， 正博 正博， 孝和 孝和， 拓郎 拓郎， 護 護， 吉川 一志， 西田 尚敬， 恩田 康平， 宮地 秀彦， 好川 正孝， 西川 郁夫， 稲本 雄之， 田口 洋一郎， 民上 良将， 樋口 裕一， 小野 圭昭， 川本 章代， 渋谷 友美， 佐藤 正樹， 藤井 孝政， 向井 憲夫， 吉峰 茂樹， 土居 聖， 小正 聡， 井関 富雄， 山田 耕治， 佐野 寿哉， 松島 由紀

辻 窪， 堀井 正重， 居波 板垣， 蒲生 大東， 園本 篠永， 佐久間 岸本， 山田 松本， 米谷 辰巳， 樋口	要 寛仁， 活子 裕一， 薫 惠輔， 祥子 希好， 美惠 美恵， ゆかり 泰司， 直隆 直隆， 裕 裕， 晃一 裕之， 浩隆 恭子， 以上	大西 祐一， 蠅庭 基宏， 飯田 拓二， 護邦 英俊， 四井 資隆， 秋山 広徳， 竹安 正治， 人見 さよ子， 小谷 順一郎， 加藤 裕彦， 上村 直也， 金平 裕久美， 永目 誠吾， 辻 一起子， 大西 明雄	H. 25. 4. 1付
講師(非常勤)委嘱			
解剖学講座			
	清水 孝治， 島田 純治， 江原 雄二， 牧草 一人， 藤原 成樹， 中辻 勇志， 田中 毅彦， 江原 大輔，	疋田 芳寛， 中村 雅彦， 中道 晴記， 三宅 信夫， 松川 信夫， 池 安海， 大野 久美子， 安田 久理人	
口腔解剖学講座			
	多田 逸， 山本 洋幸， 椿井 孝芳， 藤原 士郎， Rogelio J. Scougall Vilchis 富永 康彦， 三上 脇坂 聡， 朴 榮錫	荻田 雄紀， 松田 哲一， 朱 成淑	
生理学講座			
	榎村 光仁， 高井 規安， 小山 なつ， 岩崎 精彦， 村上 浩孝， 森 明彦， 大塚 俊裕， 吉野 修一郎， 諏訪部 武	長谷川 彰則， 稲田 條治， 吉村 佳博， 宮尾 治樹， 岩住 征紀， 久保 研一， 田中 弘一， 辻 洋一	
生化学講座			
	長澤 成明， 高石 佳知， 高屋 毅史， 伊東 禎雄， 有山 金一郎， 田中 義人， 前田 潤一郎， 逸崎 安， 山形 栄二	畑下 芳史， 小坂 広之， 中川 雅夫， 倉阪 雅巳， 岩佐 勝也， 天方 靖治， 上野 眞徳， 野口 薫	
口腔病理学講座			
	奥野 夏樹， 新谷 牧， 松井 正剛， 武田 良一， 和田 聖二， 佐久間 勲， 西村 泰典， 堀 晋作， 段 充	前田 満里子， 岡村 敬次， 川口 佳夫， 東浦 宏守， 河原 康二， 筒井 淳， 畑 慎太郎， 田中 淳司， 川崎 昌英	
細菌学講座			
	藤田 康一， 吉竹 弘行， 小幡 登， 廣畑 顕一， 石原 研， 西川 博之， 西村 耕一， 河合 博， 佐川 寛一， 水野 博之	山本 範子， 松野 吉晃， 中沢 賢一， 森 直樹， 水川 健司， 加藤 秀治， 石田 哲也， 河合 高弘， 柳瀬 香	

薬理学講座

大草 修，森川 裕
岡本 卓士，九門 好彦
井上 博明，吉岡 三四
宮田 敏生，坂本 伸人
武内信二郎，高山 昭則
河野 元一，村川 昇
狭川 正，林 昭典
野阪ひとみ，日高 厚
岩本 一哉，太田 努
野村 善一

歯科理工学講座

川原 大，三浦 康伸
森口 泰成，上田 明博
笥 晋平，善入 雅之

口腔衛生学講座

奥 忠之，白石 雅照
野村 一夫，尾辻 淳
藤井 由希，中川 哲也
森野与史緒，熊崎 眞義
村田 省三，井上 富夫
小林 正憲，岡村 伸江
奥村 信，日吉 紀子
伊津 元博，平塚 靖規
生内 信男，高島隆太郎
西川 学，深井 穫博

歯科保存学講座

井上 昌孝，谷 哲
南 昌宏，藤原 秀樹
三木 秀治，河村 昌哲
藤田 昌弘，吉原 正晃
妻野 純朗，廣瀬 泰明
砂田 和久，廣瀬 耶佳
林原 久盛，岩本 圭司
白石 充，大前 正範
初岡 昌憲，鈴木康一郎

口腔治療学講座

奥野 一吉，細見 環
速水 茂，巖 恭輔
上村 学，寺田 行男
金村 成智，薄 孝
逸見 浩史，木村 喜彦
上田 佳世，辻 一郎
吉川 伸，堀 宏之
松田 孝之，下村 容規
柿木 栄幸，藤平 智広
加藤 侑，堀 良之

歯周病学講座

本城 範典，神田 浩
大塚 健司，和泉 雄一
林 正純，英保 武志
寺西 義浩，岡西 裕公
釜谷 晋平，白井 健雄
中垣 直毅，光山 誠
松田 正文，福永 剛士
丹田 博巳，小池 敏克
富井裕紀子，寺田昌一郎
上田 実果，白石 真教

高齢者歯科学講座

亀水 忠茂，山田 昭治
浅井 加雄，松尾 光至
大槻 榮人，田中 球生
原 佳代子，右遠 英悟
額田 和門，芦田 貴司
北山 展弘，浅井 崇嗣
上田 章浩，水見 彰敏
藤岡宗之輔，岩山 和史
西岡 良子，上杉 直斗
亀水 忠宗，吉岡 正隆

有歯補綴咬合学講座

辻 功，太田 邦雄
河野 亘，水井 雅則
柳田 昌宏，長砂 孝
徳永 徹，仲西 健樹
田中 誠也，今井 敦子
上田 直克，佐古 好正
木村 公一，朴 康銘
林 明輝，谷岡 欸相
疋田 陽造，鷹尾 智典

欠損歯列補綴咬合学講座

朴 燦眞，岡崎 全宏
森田 啓三，・田 和也
三谷 徹，吉峰美千代
奥田 啓之，藤原 到
恩地 良幸，池田 直也
西川 敏文，吉川 洋史
岡本 吉宏，島谷 肇
上り口晃成，呉本 晃一
嶋村 清次，小林 将之
田村 佳則，江藤 隆仁

口腔外科学第一講座

島 盛隆，大石 建三
大杉 泰敏，栗林 信仁
佐々木 昇，酒匂 潤
小淵 匡清，植野 茂
卞 勝人，黒田 卓
篠田 豊，木下 智
松本 康宏，小川裕美子
福地 和秀，坂田 岳一
白尾浩太郎，紙谷 仁之
岩井 理恵，渡邊 信也

口腔外科学第二講座

仁木 寛，有家 巧
角熊 雅彦，赤根 昌樹
杉立 光史，柚木 大和
郷 真奈武，林 秀一
鹿野 学，山崎 行庸
岩崎 春美，栗田 賢一
濱本 和彦，阪本 貴司
本橋 具和，高橋 典章
森 悠衣，山本 浩貴
森下 寛史，井上 雅裕

歯科矯正学講座

大浦 寿哉，犬伏 俊嗣
中川 学，高橋 啓
大矢 卓志，山田 尋士
大塚 重雄，金 錫俊
関 詔夫，岡林 聰
本田 領，蓮倉 寛樹
山本 昌彦，永木恵美子
荒垣 芳元，太田千佳子
林 和男，上杉 美香
永田 雄己，片尾 祐子

歯科放射線学講座

内海 潔，川植 康史
室井 誠，松本 義之
釜田 博史，川崎 靖典
坂本 健吾，林 靖久
青木 秀哲

小児歯科学講座

池本 博之，石井 信行
大道 士郎，大谷 敏三
梶本祐一郎，嘉ノ海龍三
佐伯 克彦，白數 慎也
大東 美穂，中村 弘之
濱田 義彦，原 直仁
松尾 博之，山尾 雅朗
渡邊 景子，渡邊 記代
深尾 正，中野 智子

歯科麻酔学講座

赤塚 正文，山下 智章
足立 了平，河合 峰雄
内海 潤，水野 誠
姜 由紀，釜田 隆
安留 輝之，松田 佳子
孫 弘樹，弘兼 素子
安東 大器，杉岡 伸悟
徳永 敦，大草 知佳
安東佳代子

内科学講座

岡崎 俊朗，梅原 久範
米田 修，薬師寺健太郎
奥田 恵子，宮地 理彦
原川 奈梨，金下 祐己
森口久美子，長野 豊

ODU NEWS No.168

講座教室外

小児科
外科
精神科
法医学・法歯学

住本 真一
中村 肇
上野 千穂
吉本 寛司
高坂 友和
植村 武史
池谷 博，
小林 正樹，
宮森 大輔，
垣内 康宏

基礎情報科学
英語 上級会話・リスニング

野村 孝久
Eric Schoenbrunn
Bernard MacMugen

ドイツ語
文章表現
体育実技

武田 良材，
大森 智子
石黒 義昭
山田なおみ，
出井 章雅
小芝 裕也，
中村 力
永石 高敏
平 英美
守安 毅
仲地加奈子

心理学
社会学
物理学
美術

柿本 香，
柿本 真音，
上尾 礼子，
植田 郁子
山形 浩一
森 淳秀

皮膚科
統計・医療統計
数学

兼任者

眼科学
口腔インプラント学
歯科審美学
臨床直前教育

岸本 直子
馬場 俊輔
末瀬 一彦
小出 武

大学院歯学研究科

病理学
歯科矯正学
小児歯科学
歯科麻酔学

国分 麻佑
氏井 庸介
岡井 有子
百田 義弘
H. 25. 4. 1付

以上

歯科技工士専門学校講師(非常勤)

長家 秀博，
藤田 淳一，
橋本 典也，
竹村 明道，
岩井 康智，
飯田 慈子，
櫻 則章，
田中 昭男，
田中 昌博，
佐藤 正樹，
岡崎 定司，
小正 裕，
飯田 拓二，
西田 尚敬，
覚道 健治，
方 一如，
篠崎 照泰，
齋藤 俊文，
中辻 孝一，
林 美己，
内藤 徹
山田なおみ，
吉田 隆志，
都賀谷紀宏，
戸田 伊紀，
隈部 俊二，
藤原 眞一，
西川 泰央，
山根 一芳，
楠本 哲次，
馬場 俊輔，
西崎 宏，
井上 太郎，
竹安 正治，
清水谷公成，
岸本 直隆，
高橋 恵美，
菊田 茂，
堀内 賢，
西村 元彦，
東 宗秀，
以上

佐ノ木幸夫
武田 昭二
諏訪 文彦
上村 守
中塚美智子
川合進二郎
池尾 隆
神原 正樹
田中 順子
佐藤 琢也
土居 聖
松本 尚之
山本 一世
森田 章介
山下 恒彦
内木 雄一
小山 和美
武森 政文
明崎 納
弓場 信三
H. 25. 4. 1付

歯科衛生士専門学校講師(非常勤)

川合進二郎，
藤原 眞一，
中前 純治，
佐ノ木幸夫，
山田なおみ，
戸田 伊紀，
内橋 賢二，
田村 功，
隈部 俊二，
西川 哲成，
南部 隆之，
神原 正樹，
神 光一郎，
中村 亜紀，
入江 隆子，
覚道 健治，
檜枝 洋記，
飯田 慈子，
石黒 義昭，
藤田 淳一，
諏訪 文彦，
上村 守，
池尾 隆，
合田 征司，
中塚美智子，
福島 久典，
大浦 清，
土居 貴士，
小谷順一郎，
今西 秀明，
中塚美智子，
山本 一世，
岡村 英幸
櫻 則章
樫谷 康平
長家 秀博
竹村 明道
西川 泰央
鎌田 愛子
岩井 康智
田中 昭男
山中 武志
野崎 中成
川崎 弘二
佐久間泰司
福井 和枝
福澤美智子
岩田 有弘

林 宏行，
梅田 誠，
柿本 和俊，
田中 順子，
大河 貴久，
土居 聖，
森田 章介，
有田 憲司，
飯田 拓二，
臼本 鏡子，
小出 武，
川原 幹夫，
糸田 昌隆，
藤林由利安，
隅田 好美，
木村 葉子，
大久保 直，
上野 千穂，
前田留美子，
稲本 雄之，
木村大輔，
大郷友規，
大井克典，
岡崎 定司，
前本 武志，
松本 和浩，
竹安 正治，
東山 朋代，
清水谷公成，
米谷 裕之，
武田 昭二，
方 一如，
高田橋美幸，
森田婦美子，
田村 照美，
宮前 雅見，
馬場 俊輔，
村田 圭美，
以上
辻 正裕
小正 昌博
田中 孝政
藤井 宏
西崎 大吾
坂井 由紀
松島 尚之
松本 政代
山下 広徳
秋山 一起子
辻 浩
大島 美千子
南部 智子
宮本美千子
張木 康代
簡井 睦
澤井 宏文
新井 是宣
木野本亜友未
H. 25. 4. 1付
上根 昌子
H. 25. 6. 1付

あとかぎ

4月に楠葉と牧野学舎の学食がリニューアルしました。楠葉学舎の食堂は名称も新たに公募し、「ODU Cafetería」と決定しました。毎日学生さんや教職員で賑わう ODU Cafetería でメニューの考案から調理まで担当されている、料理長の吉川さんにお話を伺いました。

ー工夫されていることは何ですか？

ここを利用されるのは学生さんが中心ですので、やはり学生さんに好まれるメニューを取り入れるように心がけています。また、教職員の方も利用されますし、年齢層や好みもさまざまなので、どんな方が食べにこられても、食べたいものがあるようにバランスのとれたメニューを考えるようにしています。

ーどんなところに一番気をつかわれますか？

できるだけ“できたて”を食べていただきたいので、ご注文を受けてから調理をするようにしているのですが、お昼休みになると学生さんが一気に押し寄せてくるので、お待たせしないですとお出し

できるように準備しておけるところは準備して…そのバランスが結構難しいところでありまして、一番気を配っているところでもあります。

ー人気のメニューは？

今までで一番手ごたえを感じたのは鶏天丼でした。

今回取材で取り上げてもらったメニューの中では、きしめん天ぷらセットが人気がありました。きしめん天ぷらセットはイベントメニューとしていたのですが、2週間に一度くらいの頻度で、このようなイベントメニューをお出ししています。今回は麺メニューでしたが、今度は定食、その次は丼物、といった感じで考えています。バラエティに富んだ食事を楽しんでもらえればと思っています。

ー利用者の方へ一言

今はメニューの考案などはこちらで行っていますが、今後はお客様のご要望も取り入れて、より喜んでもらえる食堂にしていきたいと思っていますので、皆さまからのリクエストをお待ちしています！売店も充実させていきますので、売店についてもなにかご要望があればぜひお願いします。

ODU Cafetería のメニューをちょこっとご紹介！

料理長さんはこんな方です！



きしめん天ぷらセット

イベント
メニュー

サクサクの天ぷらとモチモチのきしめんの相性ばっちり！
炊き込みご飯もうれしい。



サバのみぞれ煮定食

プレート
ランチ 和

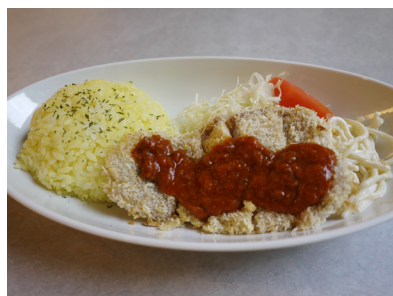
教職員に大人気のヘルシー定食。
脂の乗った鯖を大根おろしで
さっぱりといただきます！



そばめし

ライス
バラエティ

ボリュームたっぷり！
関西人の胃袋を掴む B 級グルメ！



ポークカツレツ ボローニャソース

プレート
ランチ 洋

香り高い本格的なソースが食欲を
そそります！お腹も心も大満足！



料理長の吉川さん

以前は和食専門の料理人をされていた料理長さん、和定食の煮物や出し巻きはお出汁がきいて本当においしい！ときにはステーキを焼いたり、各地の郷土料理をつくったり、いろんなメニューに挑戦してくれるので、毎日お昼時間がとても楽しみです！
(広報担当)

大阪歯科大学広報 第168号

発行日 平成25年7月31日

編集発行 広報委員会

〒573-1121 枚方市楠葉花園町8-1

電話 072-864-3111